

saka Kyokai engyo

2023.3
No.174
SPRING

報告

2023年 新春賀詞交歓会
時代の変化を貴重なチャンスと捉えよう!

特集

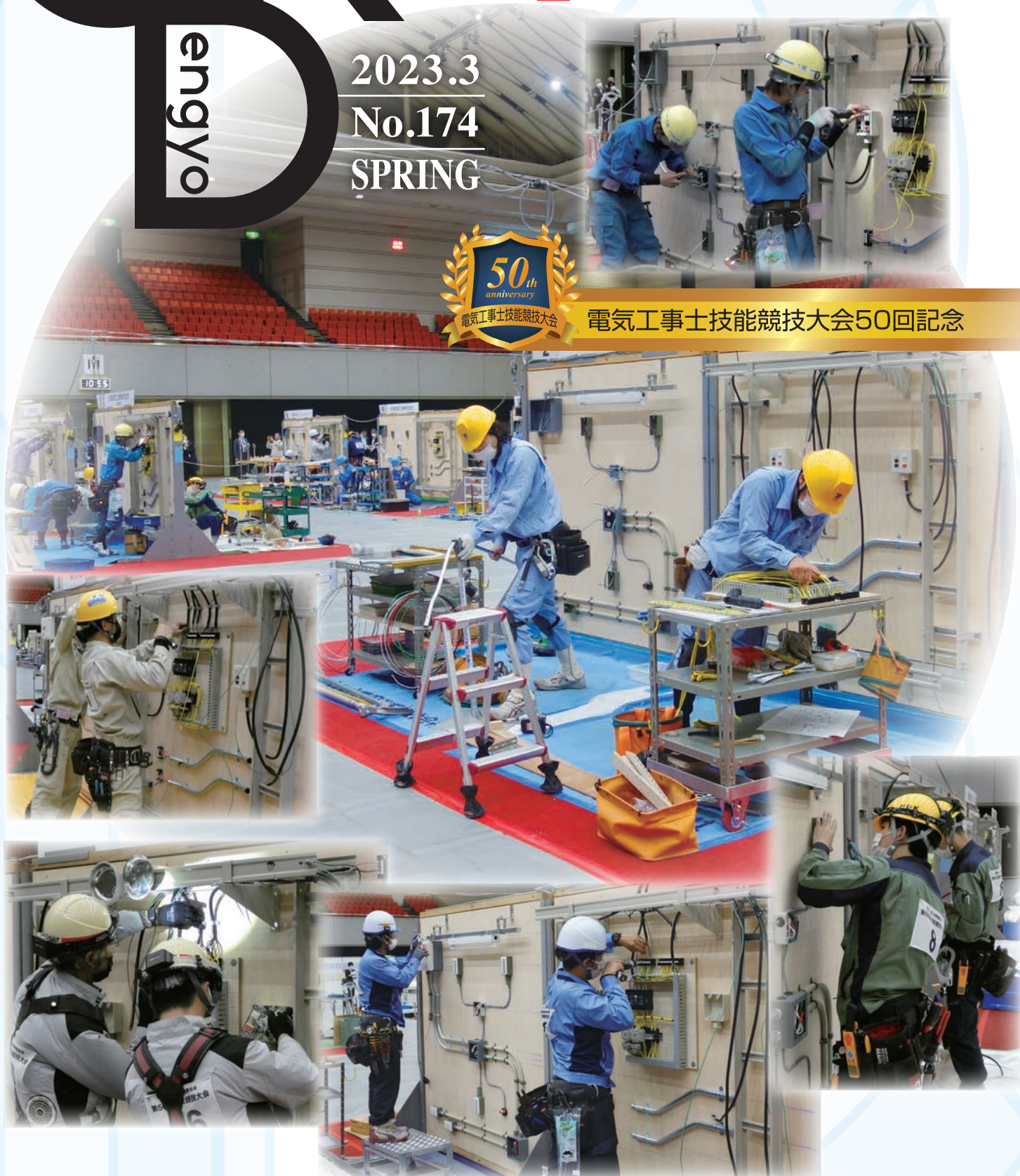
青年部会発足50周年記念式典
半世紀の振り返りと未来に向けての決意を新たに

特集

第50回 電気工事士技能競技大会
50年の伝統を背負い、若き志士たちが技能の頂に挑む



電気工事士技能競技大会50回記念



一般社団法人 大阪電業協会



第71回電設工業展

JECA FAIR 2023

サステイナブルな社会の実現に向けて！
一歩踏み出す電設技術

入場無料

会期

2023.5.24(水)▶26(金)

会場

インテックス大阪(3・4・5号館)

大阪市住之江区南港北1-5-102 TEL:06-6612-8800

時間

10:00~17:00 初日 10:30~17:00
最終日 10:00~16:30

主催/一般社団法人 日本電設工業協会 東京都港区元赤坂1-7-8 TEL.03-5413-2163(直通)

特別講演会(聴講無料)

5.24(水)

13:30~14:45

〈講演テーマ〉
「建設ディレクター®」が
建設業の働き方を変える

講師 新井 恭子



(一社)建設ディレクター協会 理事長
京都サンダー新代表取締役

聴講予約はこちら ▶ <https://www.jecafair.jp/>

ONLINE 展示会

2023年5月15日(月)~6月30日(金) JECA FAIR 公式サイトで開催



CONTENTS

2023.3 No.174 SPRING

一般社団法人 大阪電業協会 会報

表紙を飾るのは、第50回となる記念すべき電気工事士技能競技大会で、日頃現場で培った技能を披露する選手たち。
1チーム2ボード2名による共同作業で過去の大会にはないチームワークが試される競技となりました。

大阪電業協会の組織と委員会メンバー

総務委員会

2023年 新春賀詞交歓会

報告

時代の変化を貴重な
チャンスと捉えよう!

2022年度 永年勤続者表彰

永年、当業界の発展に寄与された118名が受賞

2022年度「優秀建設施工者」大阪府知事表彰

会員企業から2名の受賞

経営委員会

公共工事発注機関との意見交換会

資材高騰対応と適切な工期を求めて

青年部会

青年部会発足50周年式典

特集

半世紀の振り返りと未来に
向けての決意を新たに

デイキャンプ活動

レジャーの秋・スポーツの秋を存分に満喫

2022年度 レクリエーション活動

子供たちの笑顔とともに!

日本赤十字社大阪府支部寄付金贈呈

募金活動により20万円の寄付

中小部会

退職防止小委員会

退職防止のためのあの手この手

社内業務効率化小委員会

ITの活用が働き方を変える

「労働災害等リスク発生時の対応」研修会

「こんな時、どうする?」を学ぶ

理事会だより

2023年度 上半期の主な行事予定

会員往来



～国や地方自治体が発信している情報を、
どれだけでご存知ですか?～

会員諸変更届／編集後記

技術・技能委員会

第50回 電気工事士技能競技大会

特集

50年の伝統を背負い、若き
志士たちが技能の頂に挑む

資材部会

第30回 会員企業見学会

一世紀を超える配線器具事業の歴史に感銘

労務・安全委員会

2022年度 登録電気工事基幹技能者認定講習・職長教育

安全で品質に優れた

電気設備工事の施工を目指して!

2021年度(2021年4月～2022年3月)

「働き方改革」に関する調査結果

働きやすい職場環境になっていますか?

人材部会

大学電気系教員との意見交換会・工業系高校教員との意見交換会

時代に合った業界PRが必要か!

一人でも多くの学生に入職していただくために

2022年度 電気設備工事業界研究セミナー

就活学生に業界を熱くPR

広報委員会

第29回 電気工学系大学生現場見学会

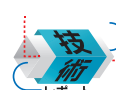
百聞は一見に如かず!

難波ド真ん中の電気工事現場をリアル見学

あなたの自慢のショットを募集「フォト自慢」審査結果発表

これは、面白い!...「自慢大賞」発表

読み物



工場におけるデマンドレスポンスを活用した
バーチャルパワープラント(VPP)実証実験
について 住友電設株式会社 上田 峰之



日本で一番短い地名「津」

日本ファシリオ株式会社 大阪本店 植谷 信之



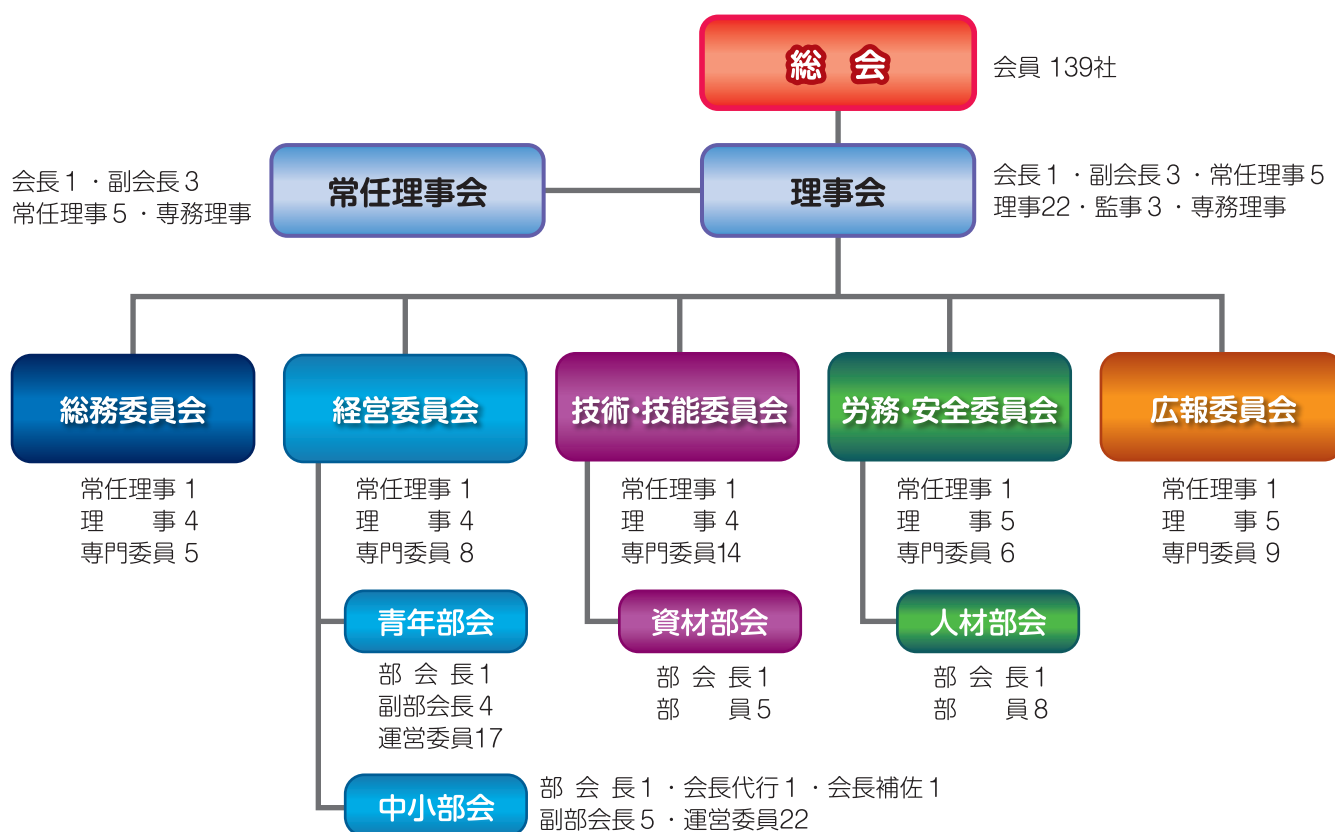
From 大阪球場 to なんばパークス

株式会社キンコー 岩本 浩一

大阪電業協会の組織と委員会メンバー

2023年3月1日現在

会 長 前 田 幸 一 (㈱きんでん)
副会長 坂 崎 全 男 (住友電設㈱)
副会長 横 井 正 温 (栗原工業㈱)
副会長 上 坂 隆 勇 (㈱きんでん)



総務委員会

委員長 (常任理事)	告野 満彦 (野里電気工業㈱)	専門委員	若林 敬昭 (八千代電設工業㈱)
理 事	坂本 恵一 (近畿設備㈱)	専門委員	藤井 勇人 (野里電気工業㈱)
理 事	富永 昌雄 (八千代電設工業㈱)	専門委員	辻本 洋克 (辻本総合設備㈱)
理 事	橋本 博司 (旭電設㈱)	専門委員	長谷 陽子 (栗原工業㈱)
理 事	遠竹 泰 (㈱ミライト・ワン)	専門委員	川部真太郎 (住友電設㈱)

経営委員会

委員長 (常任理事)	網崎 雅也 (㈱きんでん)	専門委員	廣畑 善光 (東海電設㈱)
理 事	尾倉 修 (住友電設㈱)	専門委員	渡部 憲一 (㈱ワタベ)
理 事	笠島 浩一 (共栄電業㈱)	専門委員	小寺 正教 (㈱きんでん)
理 事	西尾 崇 (㈱西尾電設)	専門委員	河本 健 (日本電設工業㈱ 大阪支店)
理 事	瀧 宏之 (栗原工業㈱)	専門委員	屋渡 健 (住友電設㈱)
専門委員	福田 広和 (栗原工業㈱)	専門委員	笠井 善仁 (八千代電設工業㈱)
専門委員	平田 勝久 (八千代電設工業㈱)		

青年部会

部 会 長	1 名	副 部 会 長	4 名
総務委員会	4 名	交流委員会	4 名
福祉委員会	5 名	実務委員会	4 名

中小部会

部 会 長	1 名	会 長 代 行	1 名
会 長 補 佐	1 名	副 部 会 長	5 名
運 営 委 員	22 名		

技術・技能委員会

委員長 (常任理事)	森 博明 (三和電気土木工事㈱)	専門委員	請川 裕則 (㈱ミライト・ワン)
理事	伊藤 禎宏 (小松電気工業㈱)	専門委員	今西 寛充 (日本ファシリオ㈱ 大阪本店)
理事	草富 保博 (㈱HEXEL Works 大阪支店)	専門委員	佐伯由加志 (三機工業㈱ 関西支社)
理事	大西 毅 (㈱中電工 大阪本部)	専門委員	小西 修一 (中央電設㈱)
理事	三好 泰弘 (㈱九電工 関西支店)	専門委員	西村 隆弘 (浅海電気㈱)
専門委員	西尾 徹 (㈱きんでん)	専門委員	杉本 良太 (栗原工業㈱)
専門委員	福住 孝利 (㈱クリハラント)	専門委員	居安 正智 (住友電設㈱)
専門委員	溝手 貴光 (八千代電設工業㈱)	専門委員	仁井屋田浩 (ダイダン㈱ 大阪本社)
専門委員	小西 勝三 (野里電気工業㈱)	専門委員	渡辺 洋一 (三和電気土木工事㈱)
専門委員	藤田 雅之 (三宝電機㈱)		

資材部会

部会長 (常任理事)	嶋田 雅景 (㈱クリハラント)	部 員	浅田 雅之 (栗原工業㈱)
部 員	伊藤 高生 (ダイダン㈱ 大阪本社)	部 員	岡田 靖彦 (㈱きんでん)
部 員	志智 伸行 (浅海電気㈱)	部 員	釜本 篤也 (住友電設㈱)

労務・安全委員会

委員長 (常任理事)	嶋田 雅景 (㈱クリハラント)	専門委員	西谷 昌悟 (㈱クリハラント)
理事	濱田 厚男 (浜田電気工業㈱)	専門委員	浅香 誠 (八千代電設工業㈱)
理事	岩本 浩一 (㈱キンコー)	専門委員	西 孝治 (中央電設㈱)
理事	南 幸男 (中央電設㈱)	専門委員	佃 浩司 (住友電設㈱)
理事	坂口隆富美 (エクシオグループ㈱ 関西支店)	専門委員	國谷 謙次 (㈱きんでん)
理事	加藤憲二郎 (㈱トーエネック 大阪本部)	専門委員	古川 雄介 (㈱キンコー)

人材部会

部会長 (理事)	岩本 浩一 (㈱キンコー)	部 員	乾 克彦 (三和電気土木工事㈱)
部 員	秋田 好之 (住友電設㈱)	部 員	仙崎 哲也 (近畿設備㈱)
部 員	由井 秀洋 (栗原工業㈱)	部 員	原 宗一郎 (㈱クリハラント)
部 員	花市 竜章 (三栄電気工業㈱)	部 員	嘉納 秀造 (三宝電機㈱)
部 員	高松 光示 (中央電設㈱)		

広報委員会

委員長 (常任理事)	早坂 稔 (浅海電気㈱)	専門委員	森 宣夫 (日本ファシリオ㈱ 大阪本店)
理事	一瓢 秀次 (三栄電気工業㈱)	専門委員	丸谷 良美 (マルヤ電気㈱)
理事	井下 智仁 (㈱関電工 関西支店)	専門委員	須戸 清光 (三和電気土木工事㈱)
理事	坂本 暢彦 (ダイダン㈱ 大阪本社)	専門委員	田中健太郎 (㈱きんでん)
理事	植谷 信之 (日本ファシリオ㈱ 大阪本店)	専門委員	熊迫 仁士 (住友電設㈱)
理事代行	松井 克彦 (日本電設工業㈱ 大阪支店)	専門委員	小林 健一 (三宝電機㈱)
専門委員	内橋 史和 (ダイダン㈱ 大阪本社)	専門委員	奥村 武央 (浅海電気㈱)
専門委員	田中 晋策 (三栄電気工業㈱)		

監事

板東 秀明 (宮崎綜合法律事務所)
安藤 一彦 (藤井電気工事㈱)
嘉納 秀憲 (三宝電機㈱)

委員会・部会活動
よろしくお願いします



報告

時代の変化を貴重なチャンスと捉えよう！



2023年1月17日(火)17時よりホテルニューオータニ大阪2階鳳凰の間において、大阪電業協会主催、日本電設工業協会関西支部共催による「2023年新春賀詞交歓会」を開催しました。昨年同様、コロナ感染症防止対策を実施した上で、参加人数も約230名という従来の3分の1程度に抑えて、円卓立ち席形式で行いました。

前田会長は挨拶の中で「国が進めている国土強靱化に加えて、2025年には大阪・関西万博が開催される。電設業界は益々大きな社会的使命を担っており、大きな期待も寄せられている。本年も業界としてこの期待に元気に応えていきたい。また、来年4月より適用される時間外労働の上限規制に向けての働き方改革を大切なチャンスと捉え、労働環境の改善に向けて進めよう。会員各人が強い意識を持ち、各社・各現場一つひとつの見直しから、この活動を進めていくことが肝要と考える」と述べました。その後、ご来賓の国土交通省様、経済産業省様、大阪府様からご祝辞を頂戴し、最後に3名の副会長が登壇され、代表して坂崎副会長のご挨拶と乾杯で終了しました。

挨拶

(一社)日本電設工業協会 関西支部長
(一社)大阪電業協会 前田会長

(全文)



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、従業員そしてご家族の皆様とともに明るく健やかな新年を迎えられたことと存じます。日頃は当協会へのご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。未だ続くコロナ禍ではございますが、本年もこのよう

に賀詞交歓会が開催され、皆様にお目にかかれたことを大変喜ばしく思います。

本日は公務ご多忙の中、国土交通省近畿地方整備局より中山宮繕部長様、経済産業省中部近畿産業保安監督部

より斎藤近畿支部長様、そして大阪府都市整備部住宅建築局より岸本設備課長様、新性建築振興課長様をはじめ、各官庁よりご臨席を頂き厚く御礼を申し上げます。

昨年は安倍元総理への銃撃事件、コロナ禍にウクライナ危機が重なり引き起こされた物価高騰や資機材の調達難、さらには金利上昇による大幅な為替変動など、社会経済活動は今までにない不安定さを表した一年でございました。これを機にエネルギー安全保障の観点から原子力発電が見直され、また、カーボンニュートラルへの活動も一段と進みました。

一方、自然災害においては、28年前の今日、阪神大震災が発生いたしました。地震、豪雨や台風など自然災害の激甚化に対しては防災、減災といった国土強靱化が着実に進められております。さらに、これからは国防への備えも進んでまいります。関西ではこれに加えて、2025年に大阪・関西万博が開催されます。私たち電設業界は今、益々大きな社会的使命を担っており、大きな期待も寄せられております。本年も業界としてこの期待に元気に応えていきたいと考えます。

そのような中、当協会の喫緊の課題として、来年4月より適用される時間外労働の上限規制に向けての働き方改革がございます。私たちはこの変化を大切なチャンスと捉え、労働環境の改善に向けて進めてまいりましょう。会員各人が強い意識を持ち、各社・各現場一つひとつの見直しから、この活動を進めていくことが肝要と考えます。どうぞ、関係各位の皆様のご協力、ご支援を何卒よろしくお願いいたします。

また、本年の秋には電設協全国会員大会がここ大阪で開催されます。テーマとして「和」を取り入れました。平和の「和」、日本古来の「和」、そして協会の「和」。これをもって明るく開催したいと考えます。重ねて、ご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、日本電設工業協会関西支部並びに大阪電業協会の会員各社のご隆盛、本日ご出席の皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

祝辞

国土交通省近畿地方整備局

中山宮繕部長 様

(全文)



新年、明けましておめでとうございます。

一般社団法人日本電設工業協会関西支部さま、一般社団法人大阪電業協会さまのご主催により「2023年新春賀詞交歓会」がかくも盛大に開催されますこと、心よりお慶び申し上げます。

貴協会さま、会員のみなさまにおかれましては、日頃より国土交通行政の推進と官庁宮繕事業の執行に、格別のご理解とご協力をいただき、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

さて、我が国では昨今、自然災害が頻発・激甚化しています。切迫化する巨大地震をはじめ様々な災害から国民の命と暮らしを守ることが何よりも重要な国の責務です。国土交通省では、自然災害の発生時にも、庁舎の機能を維持し、円滑な災害対応が出来るよう「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」として、インフラ老朽化対策、巨大地震等への耐災害性の強化などにスピード感を持って取り組んでいるところです。

特に建築物の機能を確保するためには、電力の確保等が重要となります。皆さまが営まれる電気設備工事は、建築物の機能確保等に重要な役割を担っています。

近畿地方整備局としましても、防災拠点の整備、既存

官庁施設の耐震対策と建築設備機能の強化、津波対策、災害応急対策活動に必要な電力確保対策等につきまして、重点的かつ集中的に取組を推進しています。

また、2050年カーボンニュートラルへの実現に向け、建築関連分野における脱炭素化の取組を着実に実行するため、昨年3月に「官庁施設の環境保全性基準」の改定を行い、その運用として、新築する建物については原則「ZEB Oriented」相当以上の整備を行うこととしております。

このような取組を進めていくにあたり、国土交通省では、適正な工期設定、施工時期の平準化、週休2日の推進のほか「i-Construction」の一環として、BIMなどのICT技術の積極的活用などにより、働き方改革や生産性の向上を推進しているところですが、その目的は、建設業に携われるすべての方々が、ワークライフバランスの確保された、やりがいと達成感のある働き方を実現していくことにあると認識しています。現場の最前線でご活躍されているみなさま方のご意見やお考えをお聞きしながら、しっかりと取り組んで参りたいと考えております。

貴協会におかれましては、かねてより電気設備工事業における技術水準の向上、若手の育成や安全衛生への取組等によりまして、良質な社会資本の整備と地域社会の発展に寄与されておられます。これまでのご尽力・ご活躍に敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展をご期待申し上げます。

貴協会並びに会員の皆様にとって本年が更なる飛躍の年となることを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

祝辞

経済産業省中部近畿産業保安監督部

斎藤近畿支部長 様

(全文)



本日は、一般社団法人大阪電業協会様、一般社団法人日本電設工業協会関西支部様共催の賀詞交歓会にお招きいただきまして、誠にありがとうございます。

令和5年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

また、日頃より、産業保安行政への御理解、御協力に感謝申し上げます。

さて、今日は6,434人もの人々が亡くなった阪神・淡路大震災から28年となります。当時、私は資源エネルギー庁に在席しており、出勤の支度をしていたところで、テレビニュースにより、この大震災を知るところとなりました。出勤すると職場は大混乱しておりました。

私自身は現地入りすることはありませんでしたが、エネ庁において情報収集等の支援業務に従事しておりました。

多くの方が亡くなられたことは誠に痛ましいことではありましたが、この震災により、防災への意識、地震への備えに貴重な教訓を得たことは疑いようがありません。阪神・淡路大震災以降も新潟中越地震、岩手・宮城内陸地震、そして2011年の東日本大震災など、度々巨大地震に見舞われております。その都度、電力設備は様々な被害・損害が発生しております。

これらの被害・損害をゼロにすることは出来ません。しかし、被害を少なくする減災は可能です。2018年大阪府北部地震以降、当支部管内では大きな地震は発生しておりません。他方、2018年の西日本豪雨、同年に近畿地方を直撃した台風21号など自然災害は激甚化しております。

両協会の皆様におかれましては、自然災害などによる様々な設備被害に対し、大変な状況にもかかわらず、被害状況の確認や、早期の復旧作業に御尽力いただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

阪神・淡路大震災から28年、東日本大震災からも10年以上が経過し、記憶の風化が指摘されるところ、昨年9月台風14号が近畿地方に接近した際、当支部内におきましても災害対策本部を立ち上げ、情報収集等の初動対応に備えたところです。

我々といたしましても気持ちを新たに、自然災害に備えていく所存であります。皆様におかれましても、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、話は変わりますが、2025年大阪・関西万博が開催されます。このような国際イベントを支える、電気の保安を担う皆様の御活躍が期待されるところでありますが、これを担う人材の確保が年々厳しくなってゆくことも懸念されております。

両協会の皆様におかれましては、技能競技大会や、学生を対象とした業界研究セミナーなどの人材の確保・育成の取組み、施工の効率化、技術の向上、新技術対応への取組等を行っておられます。こうした取組みによって人材が確保され、電気設備の施工技術が向上することが期待されます。

我々といたしましても、第一種電気工事士の実務経験

を緩和し、さらに、来年度からはコンピュータ上で電気工事士の筆記試験を行う、CBTの運用を開始するとともに、試験会場や日程を大幅に拡充します。

こうした取り組みが、少しでもこの業界においての仕事のしやすさにつながれば幸いです。

結びといたしまして、一般社団法人大阪電業協会様並

びに一般社団法人日本電設工業協会関西支部様にとって、新年が益々の御発展の年になりますことと、本日御出席の皆様御健勝と御多幸を祈念いたしまして、私からの御挨拶とさせていただきます。

本日は、誠におめでとうございます。そして、今年もご安全に。

ます。

さて、国では2020年10月に2050年のカーボンニュートラルを目指すことを宣言しているところですが、大阪府では、2030年度の2013年度比40%削減目標を達成するための全庁をあげた推進体制として、知事がトップの「おおさかカーボンニュートラル推進本部」を昨年7月に立ち上げ、全庁一体となってカーボンニュートラルの実現に取り組んでいます。都市整備部では、建築物の省エネルギー化、二酸化炭素排出量削減に加えて、光熱水費の削減を効果的に進めることのできるESCO事業に積極的に取り組んでおり、これまでの導入施設数は累計で111施設に及び、今後も引き続き推進してまいります。さらに、府内市町村に対してESCO事業の普及啓発を図っております。昨年も府内の7市町でESCO事業の公募が実施されるなど、大阪府全体で建築物の省エネルギー化、脱炭素化に貢献する取り組みが一層活発化しております。こうした省エネルギー化、脱炭素化を実現するには設備に関する高い技術力が必要不可欠であり、設備技術者がそれにしっかりと応えていくことが重要であると考えております。

また、大阪府では「働き方改革」を推進し、建設業界における働きやすい職場環境づくりを支援するため、2022年度より「週休2日促進工事」を原則すべての工事で実施することになりました。これにより、建設業界における若手技術者の離職対策や新規卒業者が入职しやすい職場環境づくりを支援できればと考えております。

この先も引き続き、省エネルギーなどの施策を推進していくためには、貴協会並びに会員の皆様の技術やノウハウが欠かせません。2023年度、大阪府では多数の建築設備工事の発注を見込んでおりますので、今後とも大阪府政へのご支援とご協力を賜りますよう、この場をお借りいたしまして、お願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

祝辞 大阪府都市整備部住宅建築局公共建築室 岸本設備課長 様

(全文)



2023年を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

一般社団法人大阪電業協会、一般社団法人日本電設工業協会関西支部並びに会員の皆様方には、平素より大阪府の建築行政の推進に多大なるご理解とご協力を賜り、この場をお借りいたしまして厚く御礼申

し上げます。

貴協会におかれましては、日頃から、電気工事業の発展や、国民生活の保安と公共の福祉増進などに取り組まれておられ、そのご尽力に対し深く敬意を表します。本年も電気工事業の分野において更なる発展に貢献いただきますようお願い申し上げます。

御承知のとおり、大阪府では昨年4月1日に組織改編があり、大阪の成長を支える都市基盤、住環境の整備や安全・安心の確保をより一体的に推進するため、都市整備部と建築部を統合し、建築部の所管業務を統括する組織として、都市整備部内に新たに「住宅建築局」を設置しました。我々設備課は、都市整備部 住宅建築局 公共建築室設備課となりましたので、引き続きよろしく願いいたします。

大阪・関西万博の開催まであと2年余りとなり、いよいよ会場建設工事が本格化します。大阪・関西万博はポストコロナの新たな時代を切り拓く国家プロジェクトでもあるため、準備に万全を期し、確実に万博の成功につなげたいと考えております。また、この大阪・関西万博をインパクトとし、大阪が成長・飛躍するための土台づくりを進めてまいりますので、皆様には積極的なご協力を期待しており



永年、当業界の発展に寄与された118名が受賞

毎年、賀詞交歓会の前段で表彰式を執り行っておりましたが、今年の賀詞交歓会は昨年に引き続きコロナ禍により参加者を削減し、時間も大幅に短縮しての開催となりましたので、表彰式を中止しました。受賞された方はおめでとうございます。



《表彰要件》

- 1 本会会員歴3年以上の会社の従業員で、表彰年度の12月31日までの3年間に、勤続25年に達した方
- 2 本会会員企業の大阪府下事業所に、通算15年以上在籍している方
- 3 表彰年度の1月1日現在、当協会会員企業の大阪府下事業所に在籍勤務予定の方
- 4 本会や他府県電業協会で、永年勤続表彰を受けていない方

永年勤続者表彰 受賞者名簿(敬称略)

会 社 名(五十音順)	氏 名				
旭 電 業 (株) 大 阪 支 店	木村裕司				
浅 海 電 気 (株)	安部哲夫	石川栄徹	吉川祈志	西中大輔	中尾龍介
	木場照美	中嶋健司			
(株) き ん で ん	井狩光洋	速水秀和	竹 宗人	南蘭好信	木原仁志
	深尾和正	岡本朗子	安藤允規	重藤まみ子	伊藤正征
	小谷英幸	田中芳宏	斉藤慎太郎	三坂祐次	吉田雅彦
	森 智宣	末吉富雄	赤山泰治	久岡右理子	田端千絵子
	松本一孝	西出 稔	久保智昭	中武 聡	稲田淳治
	辻村種俊	浦前慎吾	玉田隼人	坂井秀臣	土居聖司
	松本秀二	川瀬 学	川島宏昭	寺本俊介	金山進也
	東 克則	塚崎彰久	川上謙一	長見圭子	古田 篤
	都築祐司	岩津弘和	田中 茂	小川信高	鍛本 卓
	入谷一寛	平田 健	前田拓也	衣川和美	渡辺 卓
(株) ク リ ハ ラ ン ト	福田将司	和田 剛			
	中村正史	井手知幸	小川泰司		
栗 原 工 業 (株)	大藏 聡	加門将孝	安田和浩	白樫弘行	下原博史
	濱田憲一	平山 剛			
光 徳 電 興 (株)	稲本 豊				
三 宝 電 機 (株)	中嶋聖晴	松本直樹	山田 諭	松上雅俊	
昭 和 電 業 (株)	坂本 洋				
住 友 電 設 (株)	加藤英子	中田信太郎	山鋪周平	清水圭子	御前博基
	国富弘樹	浦上幸子	野田充孝	岡本和広	植野信一
	田井中 博幸	浜田隆行	池内崇史		
ダ イ ダ ン (株) 大 阪 本 社	小山高史	兜 隆志			
大 栄 電 気 (株) 大 阪 支 店	小松千恵子	結城絵里子			
中 央 電 設 (株)	長濱典之	田河大作	藤澤寛二	木原嘉伸	
東 海 電 設 (株)	廣畑善光				
東光電気工事(株)関西支社	照永 聡				
(株)長沼電業社大阪営業所	星 雅夫				
日本電設工業(株)大阪支店	有本司郎				
(株) ネ ッ ト	進木徹也	畠中信幸			
野 里 電 気 工 業 (株)	雑賀一哉	伊藤義幸			
(株) 阪 電 工	山下悟史				
(株)HEXEL Works大阪支店	土橋直樹				
マ ル ヤ 電 気 (株)	伊藤大助	中野勝之	安江進治	田口晴義	
八 千 代 電 設 工 業 (株)	濱田美幸	野田祐子	若松 瞳		
(株) ワ タ ベ	森中 淳	上坂一成	品川功治	杉本友希	



会員企業から2名の受賞

「優秀建設施工者」とは

直接工事を施工する経験の積み重ねにより、工事施工を行うための卓越した優秀な技能を持ち、加えて現場施工管理能力等の技術的能力も修得している者のうち、以下の条件を満たす者

(1) 熟練工部門

次の各号すべてに該当する、建設現場業務に直接従事している期間が15年以上の者で、年齢が35才以上の者。既に「青年部門」を受賞している者は、原則として候補者として取り扱わないこととする。

ただし、受賞後5年以上を経過し、かつ「熟練工部門」における功績が極めて顕著と認められる者についてはこの限りではない。

- 1 技術・技能が優秀であること
- 2 技術開発や施工の合理化を図り顕著な成績を上げている、又は建設工事に相当の実績があること
- 3 後進の指導育成に努めていること

- 4 安全衛生について貢献していること
- 5 他の現場従事者の模範となること

(2) 青年部門

次の各号すべてに該当する、建設現場業務に直接従事している期間が10年以上の者で、年齢が34才以下の者。

- 1 技術・技能が優秀であること
- 2 技術・技能に関する工夫・改善に努め技術開発・施工の合理化に貢献していること
- 3 将来その活躍が一層期待されること
- 4 安全衛生について貢献していること
- 5 他の現場従事者の模範となること

(一社) 大阪電業協会から推薦させていただきました、お二人が大阪府知事表彰を受賞されました。2月9日(木) 10時より大阪府公館大サロンにおいて表彰式典が執り行われ、被表彰者お一人ずつに直接表彰状が手渡されました。

熟練工部門

会社名

栄久電気工業株式会社(日本電設工業株式会社 協力会社)

氏名

宮本 慎也 氏

(職種: 電工 年齢: 43歳 現場歴: 23年)

功績

長きにわたり電気工事に携わり、工場、マンションなどの実績を有し、困難な施工内容でも卓越した技術で、最良を導き出し、現場を無事に竣工させてきた実績が評価されている。また、過去の事故事例を活用し、同種事故防止に積極的に取り組んでおり、結果、23年間無事故を継続中。



青年部門

会社名

鈴木電設株式会社(中央電設株式会社 協力会社)

氏名

瀬野 浩太郎 氏

(職種: 電工 年齢: 33歳 現場歴: 11年)

功績

主にオフィスビル、ホテル等の改修工事に多数携わり、事故や不具合を出すことなく、高品質の施工を行ってきた実績がある。また、安全衛生活動に積極的に参加するとともに、同業者へ適切な施工方法を提案、調整を行うなど、コミュニケーション能力が高く、関係者からの信頼を得ている。



この度は、受賞誠におめでとうございます。平素からのたゆまぬご努力に深く敬意を表しますとともに、将来の電気設備工事業界を牽引していただく人材として、今後ますますのご活躍を祈念申し上げます。

資材高騰対応と適切な工期を求めて

さらなる現場環境の改善を目指して発注者側の理解を求める

(一社)日本電設工業協会関西支部および(一社)大阪電業協会では、毎年定期的に国土交通省近畿地方整備局営繕部を始めとする公共工事発注機関との意見交換を近畿地区の府県電業協会を交えて開催しています。

意見交換会では、(一社)日本電設工業協会の年度方針を踏まえ、電気設備工事業界が目指す方向性や取組みについて説明するとともに、事前に会員企業から提起された資材高騰対応や適切な工期設定等、直面する諸問題についての意見交換を行い、発注者側のご理解を深めていただき、諸施策への反映を依頼する活動を継続しています。

今年度は2022年12月に国土交通省近畿地方整備局営繕部と大阪府都市整備部、2023年2月に西日本高速道路株式会社との意見交換会を開催しました。西日本高速道路株式会社との意見交換会には(一社)日本電設工業協会の



中国支部、四国支部、九州支部から各2名ずつ参加され、地方ならではの課題を共有しつつ、働き方を改革できるよう発注者側に理解を求めました。

国土交通省近畿地方整備局営繕部との懇談会

■日 時 2022年12月1日(水) 14:00~16:15

■場 所 マイドームおおさか 8F 第6会議室

■参加者 近畿地方整備局側(5名)

営繕部 営繕品質管理官 薄田 球一様
// 設備技術対策官 森田 良次様
// 技術・評価課長 滝波 武仁様
// 整備課長補佐 藤井 学様
京都営繕事務所長 橋本 幸治様

(一社)日本電設工業協会関西支部(14名)

(一社)大阪電業協会

常任理事 網崎 雅也(経営委員長)
理 事 笠島 浩一
理 事 西尾 崇
専門委員 福田 広和
専門委員 小寺 正教
事務局 土井 俊明

■参加者 (一社)京都電業協会 会 長 木下 博之
(つづき) (一社)滋賀県電業協会 副会長 永田 竜太郎
(一社)奈良電業協会 副会長 和田 修志
副会長 奥村 雅英
(一社)兵庫県電業協会 会 長 小坂 哲二
副会長 前田 潮
(一社)和歌山電業協会 会 長 吉川 幸夫
(一社)福井県電業協会 会 長 伊藤 仁一郎

■テーマ ①(一社)日本電設工業協会関西支部からの連絡事項
・会員大会決議、第4回 働き方改革フォローアップ調査 結果概要
②(一社)日本電設工業協会関西支部からの質問
③近畿地方整備局からの情報提供

大阪府都市整備部住宅建築局公共建築室設備課との懇談会

■日 時 2022年12月5日(月) 14:00~15:20

■場 所 (一社)大阪電業協会会議室

■参加者 大阪府 都市整備部 住宅建築局 公共建築室
設備課(4名)

設備課長 岸本 博之様
設備課 設備計画グループ 参事 松尾 博司様
設備課 設備計画グループ 参事 今井 勲様
設備課 一般設備グループ 課長補佐 矢倉 政雄様

(一社)大阪電業協会(8名)

常任理事 網崎 雅也
理 事 尾倉 修
理 事 瀧 宏之

■参加者 専門委員 平田 勝久
(つづき) 専門委員 廣畑 善光
専門委員 渡部 憲一
専務理事 土井 俊明
事務局長 福岡 利明

■テーマ ①(一社)大阪電業協会からの連絡事項
・電設協会員大会決議「働き方改革フォローアップ調査(抜粋版)」
②(一社)大阪電業協会からの質問に対する大阪府の回答
③その他意見交換

西日本高速道路株式会社との懇談会

■日 時 2023年2月15日(水) 14:30~16:40

■参加者
(つづき)

専門委員 小寺 正教
 専門委員 河本 健
 専務理事 土井 俊明
 事務局長 福岡 利明

■場 所 ANAクラウンプラザホテル大阪 2F飛鳥の間

■参加者 西日本高速道路株式会社(10名)

保全サービス事業本部 林田副本部長
 技術本部 施設部 布川部長
 技術本部 施設部 岡田次長
 建設事業本部 建設事業部
 施設建設課 平川課長
 建設事業本部 建設事業部
 施設建設課 佐川課長代理
 保全サービス事業本部 保全サービス事業部
 施設保全課 宮本課長
 保全サービス事業本部 保全サービス事業部
 施設保全課 野上課長代理
 関西支社 村井施設担当部長
 四国支社 保全サービス事業部
 岩崎施設担当部長
 九州支社 保全サービス事業部
 横山施設担当部長

(一社) 日本電設工業協会(13名)

(一社) 日本電設工業協会関西支部

(一社) 大阪電業協会

常任理事 網崎 雅也(経営委員長)

理 事 尾倉 修

理 事 笠島 浩一

(一社) 日本電設工業協会中国支部(2名)
 松重 光昭(㈱中電工営業本部営業部
 課長)
 廣田事務局長
 (一社) 日本電設工業協会四国支部(2名)
 尾崎 和之(㈱四電工営業本部営業部
 副部長兼営業課長)
 大井事務局長
 (一社) 日本電設工業協会九州支部(2名)
 竹井 賢一(㈱九電工営業本部営業部
 部長)
 藤井事務局長

- 次 第
1. (一社) 日本電設工業協会 政策委員会委員
 ((一社)大阪電業協会 経営委員長) 挨拶
 2. 西日本高速道路株式会社
 保全サービス事業本部 副本部長 挨拶
 3. 配付資料説明
 ・西日本高速道路株式会社
 ・(一社) 日本電設工業協会会員大会決議
 (働き方改革フォローアップ調査結果概
 要)
 4. 意見交換



西日本高速道路との懇談会

特集

半世紀の振り返りと 未来に向けての決意を新たに

■日 時 2022年10月18日 (火) 16時～
■場 所 帝国ホテル大阪

2022年10月18日 (火) 16時より大阪市北区の帝国ホテル大阪にて、ご来賓並びに多数の会員企業、運営委員OBの方々170名にご参加いただき、青年部会発足50周年記念式典を開催致しました。

冒頭、笠井青年部会長より挨拶があり、青年部会が50周年を迎えたことに対して「より魅力的で役立つ会になるように伝統・歴史を守りながら、時代の変化に対応して改革へ挑戦することが使命であり、青年部会会則にのっとり真摯に活動に取り組んでいく」と述べました。

次に、大阪電業協会前田会長よりご挨拶いただき「青年部会が協会の『看板』部会の一つになったのは、長年の支援の賜物。これから若い世代が元気に研鑽に励み、建設業界の未来を担う人材となることを切に願う」と激励されました。

その後、司会よりご来賓の紹介があり、代表して日本赤十字社大阪府支部事務局長大江桂子様より「長年の寄付活動およびボランティアに対する理解と熱心な活動ぶりに敬意を表します」とご祝辞を頂きました。

【ご来賓の皆さま】

- 日本赤十字社大阪府支部事務局長様
- 国土交通省近畿地方整備局 大阪国道事務所 北大阪維持出張所様
- 大阪府福祉子ども家庭局家族支援課様
- 大阪府社会福祉協議会様
- (一社)兵庫県電業協会青年部会様
- (一社)大阪空気調和衛生工業協会青年部会様

その後、これまでの青年部会の活動を振り返る記念映像「50年の歩み」を上映し、過去のデイキャンプや実務研修会等、青年部会の活動の様子を見ていただきました。

スライド上映後、運営委員幹部の笠井青年部会長、片山副部会長、長吉副部会長、吉年副部会長、吉富副部会長5名が登壇し「青年部会のより良い未来を実現するために！」と題して「研鑽」と「社会貢献」の2点を中心に討論



挨拶する笠井青年部会長

会を実施しました。討論会では、諸先輩が築いてきた過去の伝統を守りながらも次につながる新しい活動の意見もあがり、青年部会の可能性や将来性を感じる討論会となりました。

以上で第一部の記念式典は終了し、続いて第二部の祝賀会に移りました。祝賀会では、大阪電業協会坂崎副会長より開会のご挨拶をいただいた後、上坂副会長より乾杯のご発声をいただきました。

今回は運営委員OBの方々にも多数参加いただいており、皆さん当時の懐かしい話で盛り上がっていたようでした。会場では、過去にデイキャンプに参加された方（当時児童）と引率された先生が当時の思い出を語っていただいたインタビュー映像と、50周年記念として収録した青年部会幹部による座談会映像も上映しました。

その後、今回ご出席いただいた青年部会歴代会長を代表して第16代会長の沖野様から当時は振り返りながら懐かしいエピソードなどのお話をいただきました。

祝賀会の終盤では、様々なシーンでご活躍中の女性マジシャン荒木 巴（あらき ともえ）さんによるイリュージョンショーが行われ、笠井部会長も仕掛け人の一人として登場し、会場は大きな笑いと拍手に包まれました。その後、笠井部会長より青年部会運営委員の紹介があり、最後に大阪電業協会横井副会長より中締めのご挨拶をいただき、第二部の祝賀会は大盛況のうちに終了しました。

徴収させていただきました参加費用の一部は後日大阪府様に寄付し、知事より感謝状をいただきました。



仕掛け人となる笠井青年部会長



青年部会幹部による討論会

こうして青年部会発足50周年記念式典を無事終えることができ、ご来賓ならびに会員企業、運営委員OBの方々に厚く御礼申し上げます。

今回たくさんの方々よりいただきました激励の言葉にお応えするべく、また諸先輩方のご苦勞により築き上げてきた青年部会が次の世代へと発展していくよう活動をして参ります。今後ともご支援ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。
(長吉 記)



50周年式典の当日の様様は
こちらから動画でご覧いただけます

<https://youtu.be/82dPWupsifl>



(長時間の動画となっておりますので、スマートフォン等からご覧になられる場合、通信制限にご注意ください)

デイキャンプ活動

レジャーの秋・スポーツの秋を存分に満喫

《日 時》 2022年11月5日(土)
《場 所》 午前：大阪府羽衣青少年センター
午後：大阪府立臨海スポーツセンター
《参加人数》 203名

2022年11月5日(土) デイキャンプ活動を実施しました。青年部会の看板行事となっているこのボランティア活動も今年で28回目の開催になります。コロナの影響により3年ぶりの開催となりましたが、和泉ブロックの学園11校、98名の児童と22名の引率の先生方をお招きし、会員15社62名、運営委員21名を含め総勢203名となり、例年以上の参加者となりました。

午前中は大阪府羽衣青少年センターにてカレーライス作り、午後からは近隣の大阪府立臨海スポーツセンターにてスポーツ大会を行いました。開会式では来賓として経営委員会西尾理事が挨拶されました。

午前中のカレーライス作りでは、各グループに分かれ、児童は会員の皆様に教わりながら調理をしていました。釜戸の火起こしに悪戦苦闘する児童や、薪をくべるのを工夫して効率よく火を起こす児童、また、人参を切ったり、カレーを焦がさないよう一生懸命鍋をかき混ぜる児童がいたり普段体験できないことに取り組む児童の目はキラキラと輝いていました。会場全体に広がるカレーの良い匂いに、食欲をそそられながらも、出来上がるのを楽しみに待ちました。そして、すべての班が時間通りにカレーライス作りを終え、待ちに待った食事の時間になりました。

やっとの思いで作ったカレーライスは格別のように、おかわりをする児童も多く見られ、少しも余すことなくすぐに完食となりました。



カレー作りに夢中の子供たち

午後からは臨海スポーツセンターに移動し、スポーツ大会を行いました。今回は密を避けるため、メイン競技を例年の「むかで競争」から「ピン球リレー」に変更しました。5人1組となり、おたまやれんげといったアイテムにピン球を乗せ、バトンを繋ぎ、タイムを競いました。ピン球が思うように運べないことに苦戦しながらも、チーム一丸となって取り組んでいました。また、もう一つの新競技である「玉入れ」では、制限時間5分以内に持ち球100球をいかに多くカゴに入れるかを競うゲームで、スピードと正確性が重要となり、瞬きを忘れるほど集中している児童もいました。どの競技でも全力で取り組み、仲間を励まし、応援する姿はまさに「One for All, All for One」でした。

閉会式ではスポーツ大会の成績発表と賞品・記念品の授与があり、発表のたびに歓声を上げて喜ぶ児童、悔しがる児童、拍手で称える児童と、最後まで大盛り上がりでした。

このボランティア活動は、子どもたちに野外活動の楽し



スポーツで汗をかく子供たち

さと、団体行動の楽しさ・大切さを感じてもらい、自主性・創造性・協調性を育むこと、および青年部会がこの活動を通じて社会に貢献することを目的として毎年開催しております。

最後に、ご協力を頂きました各学園の先生方、大阪府並びに羽衣青少年センター・臨海スポーツセンター関係職員の皆様方には厚く御礼申し上げます。
(早川 記)

子供たちの笑顔とともに！

《日 時》 2022年11月19日（土）
 《場 所》 みどり農園（京都府綴喜郡）
 《参加人数》 103名

2022年11月19日（土）京都府綴喜郡の「みどり農園」にて、レクリエーション活動を開催しました。当日は小雨から曇りと回復模様の天気の中、24社103名（うち子供32名）と、多数の会員並びにご家族の方々にご参加いただきました。

開会式では、青年部会の笠井部会長と経営委員会の笠島理事が挨拶し、その後担当運営委員より当日のスケジュールと注意事項を説明後、レクリエーションがスタートしました。

昼食までは広大な自然の中でみかん狩り、しいたけ狩りを行いました。みかん狩りの山道がかなり険しい道でしたが、皆さん懸命に登っているのが印象的でした。また、青年部会にて用意したキャラメルポップコーンは準備した

材料がなくなるほど盛況でした。

昼食は、きのこご飯やお肉、野菜でバーベキューを楽しみ、終了後は豪華景品を入札方式で競り落とすチャリティーゲーム大会を実施し、担当副部会長の挨拶で閉会しました。

我々青年部会運営委員としましては、多数の会員の家族サービスに一役買えたのではないかと考えています。チャリティーゲーム大会での募金（¥112,518）については、日本赤十字社の義援金並びに大阪府下児童養護施設へ寄付させていただきます。協力をいただきました会員皆様のご理解ご協力に深く感謝いたします。

今後も青年部会では、会員相互の交流と親睦を図っていただくため、またより多くの皆様にご参加いただき楽しんでいただくために、より良い企画を実施していきたいと考えています。

レクリエーション活動へのご参加を青年部会運営委員一同、心よりお待ち申し上げております。（吉富 記）



みどり農園施設案内

みどり農園
ホームページ

バーベキュー



みかん狩り



キャラメルポップコーン



しいたけ狩り



チャリティーオークション

日本赤十字社大阪府支部寄付金贈呈

募金活動により20万円の寄付

2022年12月13日（火）、毎年恒例となっている日本赤十字社への寄付金の贈呈を、日本赤十字社大阪府支部にて行いました。経営委員会の網崎経営委員長、小寺専門委員に立会っていただき、笠井青年部会長より日本赤十字社大阪府支部大江事務局長に『活動資金』として20万円を寄付させて頂きました。

笠井部会長は「この活動は青年部会が主催する活動、行事などで各所属会社の皆様のご理解、ご協力を得て集まった善意なので、今後も継続してまいりたい」とお伝えしました。

寄付金贈呈式後の懇談会では、大江事務局長より「コロナ



寄付金贈呈式

の脅威に負けず、試行錯誤を重ねて青年部会の活動を継続されている事に敬意を表するとともに感謝しています」とのお言葉とともに、日本赤十字社社長感謝状を頂きました。

青年部会では、ボランティア活動の一環として、青年部会の各行事開催時に参加者の皆様方より頂きました寄付金を平成3年以降『雲仙普賢岳噴火災害義援金』『北海道南西沖地震災害義援金』『鹿児島県豪雨災害義援金』『阪神・淡路大震災義援金』『三宅島・新島・神津島近海地震災害義援金』『東日本大震災義援金』『シリア人道危機救援事業』等の名目で、現在までに32年間累計で1,600万円を超える金額を日本赤十字社大阪府支部を通じて、それぞれの関係各所に寄付をしてきました。青年部会会員の皆様方には、毎年多大なるご支援とご協力を頂いていることに深く御礼申し上げます。

今後も青年部会では、ボランティア活動の一環として募金活動を継続してまいりますので、会員の皆様方にはより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。（長吉 記）

退職防止のためのあの手この手

大事なのは社員ファーストの会社作りか！

中小部会では、若手退職者を防止するために数年前から中小会員企業に対して「退職者の退職理由」や「各社の退職者防止策実践事例」に関するアンケートを実施し、若手退職者を減らすための施策を調査・研究しています。今回は、退職理由のアンケートで判明した退職三大理由（「**休暇**」「**給与**」「**コミュニケーション**」）において、今まで情報をいただいた「退職防止実践事例」の中から、特に効果的で若者の定着が実感できると回答された中小企業ならではの実践事例の一部をご紹介します。



近畿設備㈱
代表取締役 坂本 恵一

「休暇」に関する実践事例

管理職が社員の勤怠情報（出勤、代休、有休、超勤等）を管理できる仕組みがあるか否か！
また、従業員が休暇を取りやすい制度や社風になっているか…

- 事例**
- ① 休日出勤した場合の代休取得状況の見える化、代休未取得者に対する取得奨励
 - ② 有休5日取得奨励日の設定（年末年始・GW・夏休の大型連休化、誕生日、結婚記念日等）および社員全員の取得予定日の見える化
 - ③ 有休を時間単位に取得できる制度の確立
 - ④ 試用期間中（入社～6か月～1年）は土日祝の完全休暇および早出・残業なし



「給与」に関する実践事例

従業員にわかりやすく、自分の将来が想像できる賃金制度になっているか…

- 事例**
- ① 基本給や昇給に関するテーブルを作成し、不公平がないようにしている。
 - ② 決算月には会社の業績により決算賞与を支給している。
 - ③ 定期昇給を実施している。
 - ④ 人事考課の結果の見える化した給与制度にしている。
 - ⑤ 事故トラブル時の緊急出勤時には特別手当（時間給）を支給している。



「コミュニケーション」に関する実践事例

若い従業員の意見や考え方を聴く耳を持っているか…

- 事例**
- ① **社員各々が全員の評価を行う制度（360度評価）**
通常、上司が部下を評価して昇給や昇進に反映させるものを、全員が全員を評価し、社員間の風通しをよくする制度
 - ② **新入社員が自分の将来像を自分で想像する制度**
通常、上司が説明する部下のキャリアプランを新入社員自身に考えさせ、毎年プラン通りに成長しているか、上司による確認と助言を行う。
 - ③ **社員主導の慰安旅行を年2回実施（会社負担）**
社員自らの意思で全員参加の慰安旅行を計画し、全費用を会社負担で実施する。
 - ④ **体系的な教育制度と定期的な面談**
専属の教育係が体系的な教育を実施し、チェックリストによる定期的な確認とフォローを行い、技術習得内容の見える化と将来に向けての不足部分の指導・助言を行う。
 - ⑤ **サンクスカード制度**
社員に毎月2枚のサンクスカードを配付し、仕事に感じた感謝の気持ちをカードに記入して送り合う制度
《目的》・社内コミュニケーションの活性化
・社員のモチベーション向上
・褒めあう文化の定着
 - ⑥ **若竹会の開催**
若手社員だけで会社に対する意見・要望を言い合い、その声を議事録として部長、社長まで届ける制度
 - ⑦ **社内報発行による情報共有**
年始に社内報を発行し、全社員の思い（昨年の反省、今年の抱負、マイブーム）を掲載することにより、社員間の横のつながりを深化



社員を定着させるコツは、社員が安心して働ける「働く人のための会社」作りだとおっしゃる経営者の方がおられました。そのために「あの手この手」で地道に色々と工夫され、結果として現社員数を維持できているということでした。

今回は、少しの実践事例しかご紹介できませんでしたが、中小部会ではこれからも「退職者を一人でも減らす活動」を継続し、中小会員企業の皆さまと情報共有できるようにいたします。次回は成功事例だけでなく、失敗事例も交えてご紹介できればと思っています。



退職防止小委員会で真剣に議論するメンバーの皆さん

《退職者面談シート活用のお願い》

中小部会では、一人でも退職者を減らすためにきめ細やかな「退職防止対策」を実践できるよう、その分析用に「退職者面談シート」による情報収集活動を実施しております。各社さまにて退職者が発生した都度ご記入いただき、大阪電業協会事務局まで情報をお寄せいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

皆さま方からいただきました生の情報をもとに、引き続き退職防止策の検討を重ね、改めて皆さま方に実効性のある有意義な退職防止対策をご提案できるように努めてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

「退職者面談シート」は中小部会ホームページよりダウンロードの上、ご活用ください。



中小部会 退職防止小委員会

中小部会ホームページ

[illegible]

■社内業務効率化小委員会

I Tの活用が働き方を変える

中小部会では2022年度からの3ヶ年事業計画「**経営力強化事業**」の取り組みの一つとして「**社内業務の効率化**」をテーマに掲げ、その一環として自社業務のIT化を進めるべく、まずは中小各社の実態を把握するためにアンケート調査から開始しました。国をあげて取り組んでいる「働き方改革」および2024年度から始まる「時間外労働の上限規制」への対応のためには、いかに社内業務を効率化させることが重要であり、その手段の一つとして中小企業にとってもITの活用は必須と言えます。

2022年10月に中小会員企業に対し「ITに関する実態調査」を実施したところ18名の方から回答していただき、以下のような結果となりました。



宏電エテック(株)
代表取締役 堀田 吉範

《中小会員企業ITに関する実態調査》

(調査期間:2022年10月5日~2022年10月14日)

No.	DXと言う言葉や意味をご存じてですか？	貴社におけるDX（またはIT化）の推進状況をどう思われますか。	DX（またはIT化）が進まない原因をどう思われますか。	DX（またはIT化）を進めたいと思われませんか。
	よく理解している ほとんどなく理解してない 聞いたことがあるが意味はわからない	かなり進んでいる やや進んでいる あまり進んでいない 全く進んでいない わからない その他	日頃の仕事を忙しく、考えている余裕がないから 何から手を付けたらいいかわからないから DX（またはIT化）のアイデアや企画が難しいから DX（またはIT化）に詳しい人材が不足しているから その他	とても進めたいと思う 少しは進めたいと思う あまり進めたいと思わない 全く進めたいと思わない
1	1	1		
2	1		1	1
3	1	1		
4	1	1	1	1
5	1	1		
6		1	1	1
7	1	1		
8	1	1		
9	1	1	1	1
10	1		1	1
11	1	1		
12	1	1		1
13	1	1	1	1
14	1			
15	1	1	1	1
16	1	1		
17	1	1	1	1
18	1	1	1	1
合計	13	8	6	5
	5.6% 72.2% 16.7%	38.9% 16.7%	18.5% 22.2% 22.2%	45.5% 45.5%
	88.9%	55.6%		90.9%

【その他】
現在色々な情報を収集中
先代の引継ぎの部分で改善中

今後、社内業務のIT化に関して「やや進んでいる」と回答された企業さまから「何が」「どのように」進んでいるのか、という情報をお聞きして、公開可能な範囲内で共有していきたいと考えております。ひとことでIT化といっても「工事管理」「安全管理」「労務管理」「セキュリティ管理」等、多岐に渡りますので、(仮称)「IT導入事例発表会」のような機会を設け、各社の導入事例を参考にいただけるような取組みを計画してまいります。

【考察】

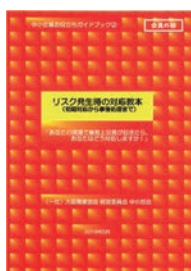
- DX（デジタルトランスフォーメーション）という言葉は新聞紙上等でよく見かけるが、よく理解されている方はほとんどおられなかった。
- 社内のDX（IT化）については「やや進んでいる」「進んでいない」が半々であった。今後「やや進んでいる」と回答していただいた企業さまに内容をお聞きして、中小部会メンバーで共有していく。
- 社内のDX（IT化）が進まない原因は多岐に渡ることが判明したので、今後の分析の参考にする。
- 90%以上の企業さまが、社内のDX（IT化）を進めたいと回答されており、今後何をどのように進めていけばいいかのヒントにしていただけるような情報を提供していく。



「こんな時、どうする？」を学ぶ



中小部会では2022年度からの3ヶ年事業計画「人材育成事業」の取り組みの一つとして「**中小部会独自の安全教育**」を事業テーマに掲げています。その一環として「こんな時、どうする？」を学ぶ「中小会員向け労働災害等リスク発生時の対応講習会」を開催しました。



リスク発生時の対応教本

司会者の京阪電気興業(株)廣田代表取締役よりコロナ禍での開催に関する注意事項等が伝えられ、研修会が始まりました。

主催者挨拶として、(一社)大阪電業協会経営委員会中小部会の笠島部会長は「この研修会は、事業計画として継続に行っている研修会で、今回で3回目となります。1回目は対面方式で、2回目はコロナ禍によりWeb方式、そして本日3回目は対面で開催致します。現場での安全防止策はそれぞれの企業で安全大会や災害防止協議会等で勉強され、対策樹立されていると思いますが、当研修会は事故、特に重篤災害が起こった時にいつ・誰が・どのように



(左) 司会：京阪電気興業(株) 廣田代表取締役
(右) 主催者挨拶：共栄電業(株) 笠島代表取締役

- 日 時 2022年12月2日(金) 13:30～17:00
- 場 所 (一社)大阪電業協会会議室
- 参加者 16社33名+兵庫県電業協会様より3名
- 内 容
 - 13:30～13:35 オリエンテーション
(京阪電気興業(株)廣田代表取締役)
 - 13:35～13:40 主催者挨拶
 - 13:40～14:20 (共栄電業(株) 笠島代表取締役)
労働災害編1(事務局 土井専務理事)
 - 14:30～15:30 労働災害編2
(旭電設(株) 橋本代表取締役)
 - 15:40～16:30 労働災害編3
(辻本総合設備(株) 辻本代表取締役)
 - 16:30～16:45 質疑応答
 - 16:45～17:00 理解度テスト
 - 17:00 閉会

対処するかということに目を向けた中小部会オリジナルの研修会となっています。長年、大手企業社員が自ら体験し、その積み重ねたノウハウを中小企業向けにアレンジしたテキストにより研修会を進めていきます。このテキストは事故が起こった時の会社担当者の役割や労働基準監督署、警察、遺族への対応方法が流れに沿って大変わかりやすく記載されています。事故が起きてしまったら社長一人では対応出来ません。周りのスタッフがどのように対応するか、そのノウハウを身に付け、対応出来る担当者を社内で一人でも増やしてもらえたらと思います。研修会が終わっても、このテキストは手の届くところに置いていただき、これからもリスクヘッジを講じてください」と参加者へ挨拶されました。

【労働災害編1】

リスク発生時の対応(初期対応から事後の処理まで) 「あなたの現場で業務上災害が起きたら、あなたはどのように対応しますか？」

業務上死亡災害の事例を取り上げ「重篤災害発生時の初動対応フロー」や、救急車の要請手順や留意点など、また、第1通報者からの連絡時確認項目チェック表では、自社に合った項目で作成しておくことが必要であることや、特に社長が各役割担当者にどのような指示を出せばよいかなど、具体例を交えて学びました。また、搬送先病院に被災者家族が到着する前と到着後の留意点として、家族とのコミュニケーションが特に重要であると学びました。



【労働災害編2】

災害発生2日目以降「重篤災害発生2日目～示談交渉までの対応」

労働基準監督署への対応では、労働災害における監督署の捜査の流れや主な報告書類について、また、提出要求権、虚偽の報告をした場合は処罰対象になることや、悪質程度によっては労災隠しと判断されるなどを学びました。警察署への対応では、事情聴取を受けるときの留意点や表敬訪問について、また、書類送検～処罰決定までの流れについて学びました。遺族対応では、通夜弔問時や初七日弔問についての留意点や、遺族損害賠償交渉について損害賠償額の算定方法、示談書作成時のポイントなどについて学びました。また、業務上交通死亡災害については事例を取り上げ、自動車保険や自賠責保険給付との支給調整

について、刑事責任、民事責任、行政責任の区別について、運行供用者責任について学びました。



【労働災害編3】

休業4日以上休業災害の初動時の流れと留意点

休業4日以上事例を取り上げ、休業補償給付額や保険給付の支給制限について学びました。次に休業4日未満事例を取り上げ、労災保険の特別加入制度や不労災害について、労災保険の基礎知識、労災保険の適用範囲について学びました。また、労災認定される過労死、精神疾患事例を取り上げ、認定要件や対象疾患なども学びました。

最終の理解度テストは、時間の都合上、持ち帰っていただき、後日(12/6)協会ホームページ上で解答を公開しました。昼から半日の研修会でしたが、参加者全員が真剣に聞いてくださり、誠にありがとうございました。重篤災害等は起こしてはならないですが、もし、万が一の事があれば、この研修会のことやテキストを思い出し、参考にさせていただけたら幸いです。今回3回目の研修会ですが、3回とも出席されている方も数名おられました。毎年この研修会に参加して、知識を付けたり思い出したりして、「万



講師：辻本総合設備㈱ 辻本代表取締役

が一の備え」として参加されているとのことでした。

「こんな時、どうする？」研修会は、今後も中小部会の事業計画として継続的に開催する予定にしております。まだ受講されていない方は、是非ご参加ください。

最後に、兵庫県電業協会様より3名参加していただきありがとうございました。貴協会における安全活動に生かしていただけると幸いです。今後とも協会間の連携、情報共有を大切にしてまいりたいと思いますので、ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。(橋本 記)

2名の方に受講の感想をお聞きしました

※年齢、勤続年数は受講当時



宏電エテック株式会社

とみた

てるお

富田 輝夫さん(54歳)

《勤続年数》13年5ヶ月

《職種》管理(事務系)

《現在の主な仕事》契約管理、労務管理

★「労働災害等リスク発生時の対応」研修会を受講してみた★

本講習会については、以前弊社代表が受講し非常にとめになるものであることから、数名で受講させていただきました。建設業に携わっていると、労災という言葉は常に身近に感じていたが、特に重篤災害が起きてしまった場合の対応といった点については、考えるのを避けていた面もあり、リスクに対し向き合えていなかったと反省している。

今回の講習で、

＊もしもの場合の各種チェックシートを作成しておくこと有効である事。

＊災害の状況に限らず、被災者側で家族の気持ちを一番大事にし対応する事。

等、非常に大切な部分を教えていただいた。

発生後数日間での対応・不労災害や労災保険知識といった点について講話いただいた3名の講師様には大変感謝しております。貴重な研修会を企画いただき有難うございました。

★今後の抱負★

今回の研修で、労災発生時のリスクについて深く考えられる機会となったが、まずは、そのような事態を発生させず、従事する作業員皆が無事日々の仕事を終え、帰宅できるように取り組む事が会社としての責務であると再確認させられた。

そのためには、それぞれが現場での危険な行動に対し注意し合える雰囲気作りや、各種安全対策の徹底等、建設業に従事する一員として取り組んでいきたい。



大阪電氣機互株式会社

なかやま

たけよし

中山 武圭さん(47歳)

《勤続年数》3年7ヶ月

《職種》事務職

《現在の主な仕事》経営管理



★「労働災害等リスク発生時の対応」研修会を受講してみた★

昨年、メルマガの案内でテキストの存在を知りました。題名を見て、「これは！」と思い、直ぐに購入し、一読させていただきました。本の厚みは薄いですが、内容はとても重みのある、すごいテキストだと感じました。このテキストが活躍するような機会は何としても避けたい。でもいざという時は直ぐに取り出せるように、デスクの本棚に立てかけて1年間、幸い本を手取る機会がなく過ごすことができました。開講にあたり笠島会長からのご挨拶の中で、このテキストは会員様の数々の辛い経験をもとに、私たちに歩み方を教えていただくために編纂されたものであることを伺い、テキストの重み、特に「ワンポイントアドバイス」を読んだ時に感じた重みの正体がわかったような気がしました。他の受講者様の熱心さにも刺激をうけましたが、講師の先生方も現在も一緒に学んでおられるということを感じ、自分一人だけが苦しいことに向き合っているのではない、と励まされました。そして、この学びには「これだけ知っていれば十分だ」というゴールがないこともわかりました。これから一緒に学んで行きたいと思います。今回は受講させていただき、誠に有難うございました。

★今後の抱負★

今回、無事に1級電気工事施工管理技術検定に合格しましたが、まだまだ未取得の資格がたくさんありますので、記憶力・集中力の低下防止も兼ねてこれからも挑戦し続けたいと考えております。



中小部会では、今後も同研修会を継続開催しますので、中小会員企業の皆さままで未受講の方につきましては、是非参加してみてください。

(中小部会独自の安全教育担当小委員会一同)

特集

50年の伝統を背負い、
若き志士たちが技能の頂に挑む！

入賞者集合写真

最優秀賞

野里電気工業株式会社
宮内真吾さん、山口祥太さん

八千代電設工業株式会社
竹田隆博さん、新保一真さん

住友電設株式会社
岡崎 剛さん、田村祐輝さん

2022年10月27日（木）エディオンアリーナ大阪（大阪府立体育会館）第一競技場において、第50回電気工事士技能競技大会を開催しました。一般の部42名（21社）、高校生の部14名（7校）の選手が出場しました。

当日は、国土交通省近畿地方整備局様、経済産業省中部近畿産業保安監督部近畿支部様、大阪府様、大阪市様をはじめ、関係諸機関・諸団体から来賓のご臨席を頂き、審査委員ならびに大会役員列席のもと、9時に森運営委員長の開会宣言で開幕しました。

開会式では、前田会長の挨拶に続き、ご来賓代表の経済産業省中部近畿産業保安監督部の斎藤近畿支部長よりご祝辞を頂戴した後、(株)橋詰電気工業所の植崎選手による選手宣誓が行われ、続いて西川審査副委員長より競技説明が行われました。

今大会は第50回の記念大会ということで、一般の部の競技課題は、**2ボード・2名による共同作業**（競技時間2時間30分）で、テーマを「**機械室・操作室**」とし、「5」と「0」をイメージした課題にしました。ボード左面は電灯回路で、レースウェイ照明の3路スイッチによる点滅、レセプタクル照明の片切スイッチによる点滅及び専用コンセント回路（100・200V）の操作室をイメージした回路構成と

しました。一方、ボード右面は動力回路で、ケーブルラック・金属管によるケーブル配線工事とし、No.1・No.2給水ポンプを操作盤から「ON」「OFF」を行い、合わせて「故障」「運転」「停止」の状態表示も確認できる回路としました。

高校生の部は、1ボード（左面操作室のみ）2名による共同作業とし、競技時間を3時間としました。前回同様平行曲げ加工を行う金属管部分をPF管とし、片切・3路スイッチの結線等、正確性を競うものとなりました。

9時30分から競技を開始し、競技が終了した作品の事前審査を行い、12時30分より競技時間内に終了した作品の事後審査を行いました。

一般の部の課題としては、操作室側は作業量、難易度ともに例年より幾分簡素化し、機械室側はシーケンス制御を取り入れ、ケーブルラック施工とした為、若干作業量が増えた事もあるが全体としては妥当な作業量であったと考えており、出場選手の実力の高さ、大会への鍛錬と努力が反映された結果であったと思います。

高校生の部では、コロナ禍により3年ぶりの開催となり、夏休み前から練習を重ね競技時間内で概ね正確に完成させていました。



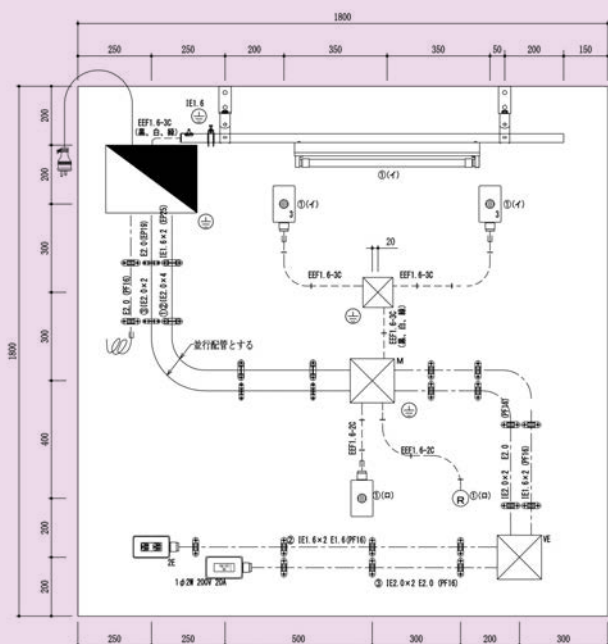
選手宣誓をする植崎選手



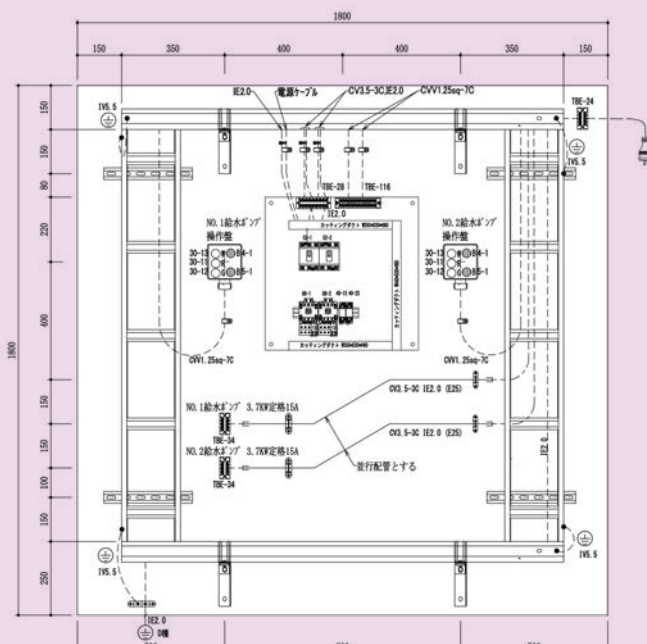
選手への競技説明

第50回 電気工事士技能競技大会（一般の部）課題施工図

左面(操作室)



右面(機械室)



表彰選手名簿(一般)

表彰種別	ポードNo.	選手名	会社名
最優秀賞	大阪府知事賞	おか だき つよし 岡 崎 剛	住友電設(株)
		た むら ゆう き 田 村 祐 輝	
	大阪市長賞	たけ だ たか ひろ 竹 田 隆 博	八千代電設工業(株)
		にい ほ かす ま 新 保 一 真	
優秀賞	(一社)大阪電業協会会長賞	みや うち しん ご 宮 内 真 吾	野里電気工業(株)
		やま ぐち しよう た 山 口 祥 太	
	(一社)日本電設工業協会関西支部長賞	おか だ かつ ひろ 岡 田 克 裕	日本ファシリオ(株)
		や ぎ けん じ 八 木 健 次	
優良賞	(一社)大阪電業協会会長賞	かわ ばた けん しん 川 畑 賢 慎	三栄電気工業(株)
		お だき たつ や 尾 崎 竜 也	
	(一社)大阪電業協会会長賞	かみ や ひろ き 紙 屋 浩 樹	栗原工業(株)
		わた なべ じゅん や 渡 辺 純 也	
技能賞	(一社)大阪電業協会会長賞	やま おか まこと 山 岡 誠	(株)関電工 関西支店
		ふく しま てる や 福 島 輝 也	
	(一社)大阪電業協会会長賞	あき やま ゆう き 秋 山 勇 気	三和電気土木工事(株)
		しば はら かす や 柴 原 宗 矢	
		うえ だ りすむ 植 田 リズム	(株)きんでん
		はら だい ご 原 大 悟	

表彰選手名簿(高校生)

表彰種別	ポードNo.	選手名	会社名
優秀賞	(一社)日本電設工業協会関西支部長賞	き た てる き 喜 多 輝 希	大阪府立生野工業高等学校
		なか の てる よし 中 野 輝 芳	
優良賞	(一社)関西電気保安協会理事長賞	ふじ もと かす とし 藤 本 一 寿	大阪府立堺工科高等学校
		よし だ えい じ 吉 田 英 司	
技能賞	(一社)大阪電業協会会長賞	ほん 本 はる き 本 田 遥 紀	大阪府立今宮工科高等学校
		まつ もと ま ひろ 松 本 真 大	
努力賞	(一社)大阪電業協会会長賞	こ ぶち はる ひ 小 淵 晴 陽	大阪府立都島第二工業高等学校
		よし かわ かなめ 吉 川 要	
		おお た たけ と 大 田 孟 人	大阪府立淀川工科高等学校
		こ とう よし つく 後 藤 慶 次	
努力賞	(一社)大阪電業協会会長賞	くぼ た りゅう き 窪 田 隆 希	大阪府立布施工科高等学校
		はち まる しゅん や 八 丸 俊 哉	
		かん ばら あお と 神 原 葵 音	大阪府立西野田工科高等学校
		ひら おか こ はく 平 岡 琥 珀	



50周年特別企画の展示を見学する皆さん



JECA FAIR出展物や安全体感コーナーを見学する皆さん

また本大会では特別企画として、**大阪電業協会電気工事士技能競技大会50年の歩み・過去大会の課題配線図の掲示及びJECFAIR2022製品コンクール入賞製品他の展示会**を開催し、競技参加者をはじめ会場に来られた方々に見学していただきました。また一般財団法人関西電気保安協会様のご協力により「**感電体感コーナー**」、株式会社きんでん様のご協力により「**バーチャルリアリティ安全体感コーナー**」を設置していただきました。

審査終了後、15時30分より井上審査副委員長の審査結

果発表、松尾審査委員長の大会講評に続いて、大阪府知事賞、大阪市長賞、大阪電業協会会長賞をはじめ各賞の表彰が行われました。

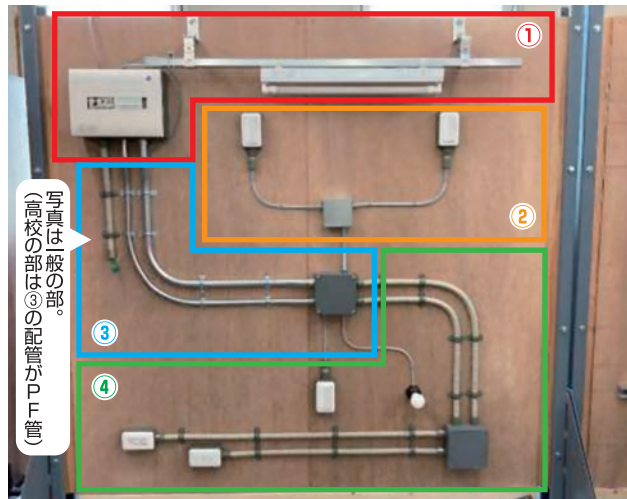
最後に、森運営委員長が閉会の辞を述べ、大会は盛況に終了しました。

早朝より終日にわたりご対応いただきました審査役員の皆さま、課題作成にご尽力をいただきました関西電力送配電株式会社の皆さまには、誌面をお借りしまして深く御礼申し上げます。
(藤田 記)

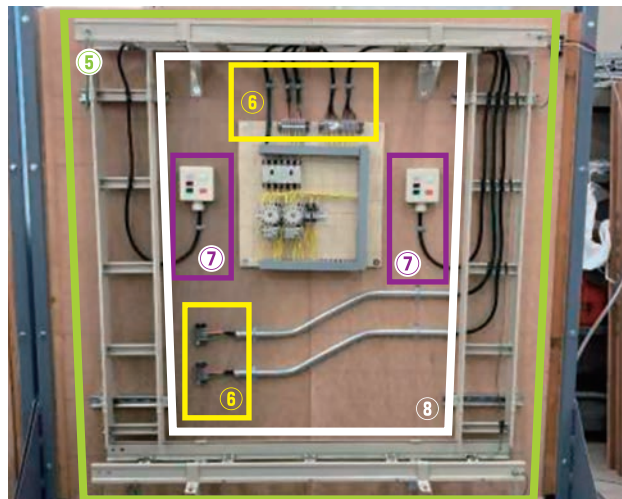


審査項目

No.	項目(一般・高校生の部共通)
①	分電盤・照明器具
②	プルBOX・3路SW
③	プルBOX・配管
④	プルBOX・配管・レセプタクル・SW・E付

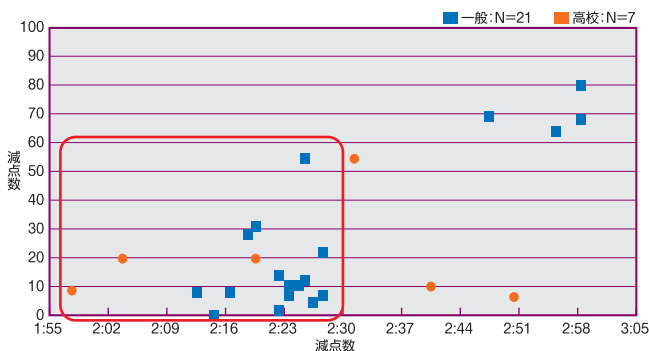


No.	項目(一般の部のみ)
⑤	ケーブルラック
⑥	端子台
⑦	SWBOX
⑧	制御回路



競技時間別 減点数、減点数別割合

競技時間別 減点数

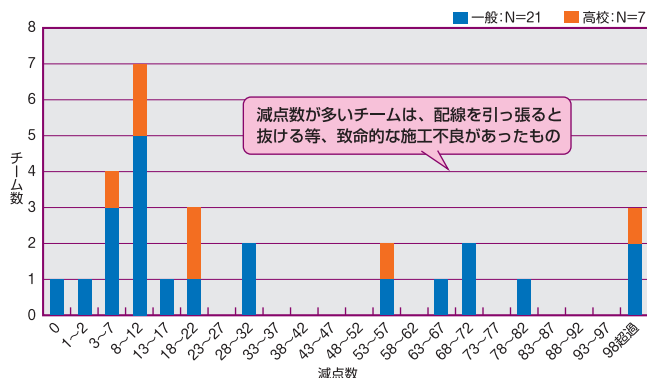


- 想定競技時間の2時間30分以内に競技終了しているチームは減点数も少ない傾向が見られる。※上表赤枠内
□ 昨年度と課題内容(昨年度よりボリューム増)や競技人数(1人⇒2人)が違ふ為、一概に比較できないものの、競技終了時間は速くなっている。
※下表参照

第50回大会		
	一般	高校
競技時間平均	2:30	2:44
競技時間最速	2:13	1:58
競技時間最長	2:50	2:50

第49回大会		
	一般	高校
競技時間平均	2:46	—
競技時間最速	2:29	—
競技時間最長	2:46	—

減点数別割合



- 合計減点数は、昨年度よりも審査項目が増えた影響もあり増加している。
※下表参照

全チーム審査（現点数が極端に多いチームも含んでいる）

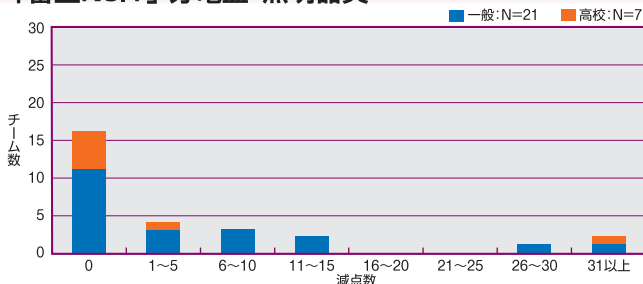
失格した3チームは未審査

第50回大会		
	一般	高校
平均値	37.0	45.9
中央値	14.0	20.0

第49回大会		
	一般	高校
平均値	10.9	—
中央値	8.0	—

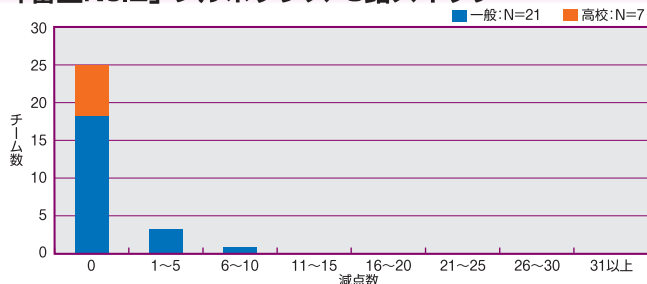
審査項目別 主な減点項目

「審査No.1」分電盤・照明器具



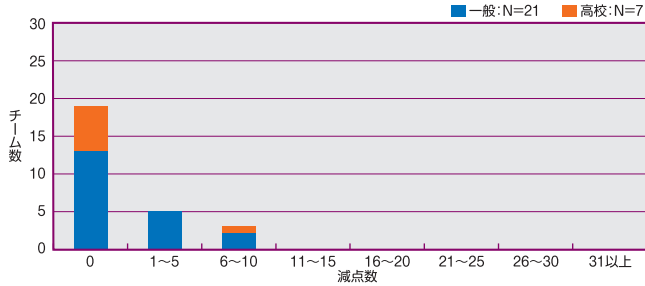
- 主な減点項目
- 電線挿入不良(一般:7チーム)
 - 電線被覆の剥ぎ方・寸法不良(一般:5チーム)
 - 主幹ブレーカ電線締付不良(高校:2チーム)

「審査No.2」プルボックス・3路スイッチ



- 主な減点項目
- 3路スイッチ電線被覆の剥ぎ方・寸法不良(一般:3チーム)

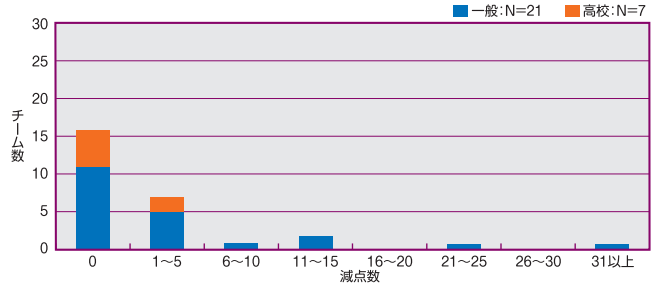
「審査No.3」プルボックス・配管



主な減点項目

- 電線被覆剥ぎ方不良(一般:4チーム、高校:1チーム)
- アースターミナル金属管電線締付不良(一般:3チーム)
- アースターミナル菊ワッシャ取付手順不良(一般:3チーム)

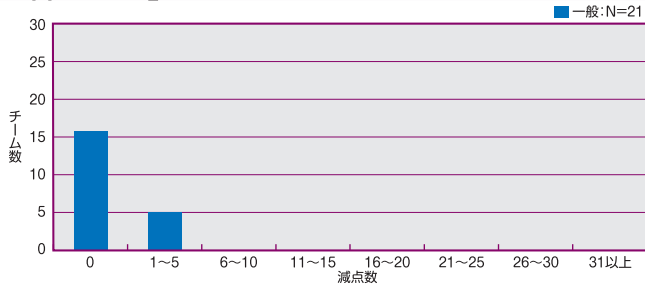
「審査No.4」プルボックス・配管・レセプタクル・スイッチ・E付コンセント



主な減点項目

- レセプタクル接続(巻き方)不良(一般:4チーム、高校:1チーム)

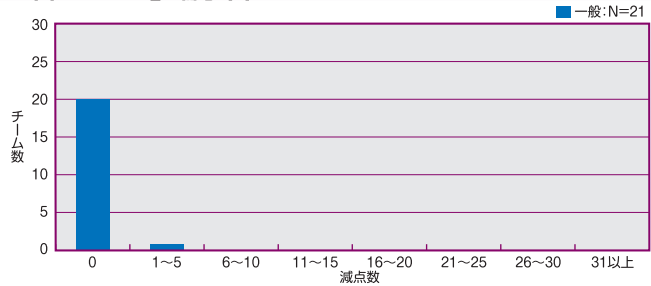
「審査No.5」ケーブルラック



主な減点項目

- ケーブルラック接地施工不良(一般:4チーム)

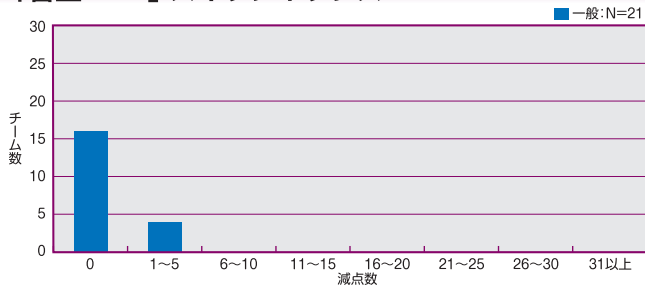
「審査No.6」端子台



主な減点項目

- 配線に傷(一般:1チーム)

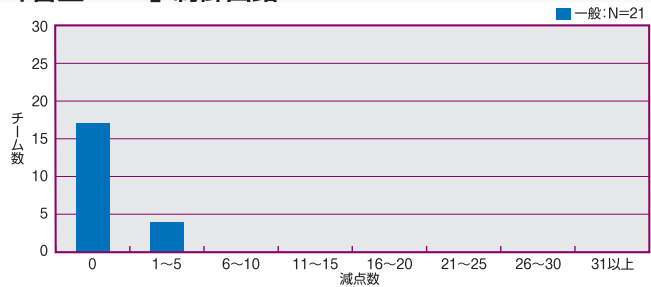
「審査No.7」スイッチボックス



主な減点項目

- 操作箱電線の剥ぎ方・寸法不良(一般:3チーム)
- 器具端子への接続不良(一般:1チーム)

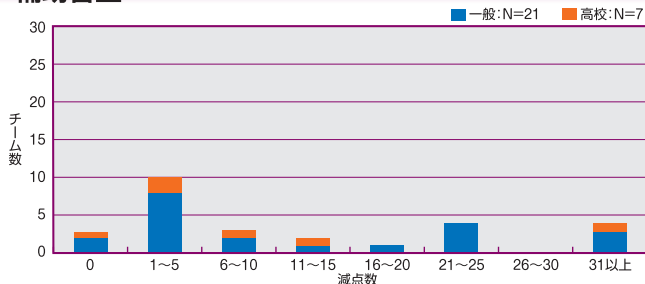
「審査No.8」制御回路



主な減点項目

- 圧着不良、接続箇所差込不良(一般:3チーム)

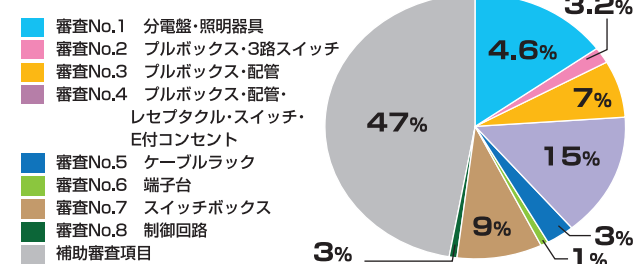
補助審査



主な減点項目

- ケーブル配線の浪打(一般:6チーム、高校:3チーム)
- 電線管・PF管が平行になっていない(一般:10チーム、高校:1チーム)
- 電線管S字曲げ不良・加工不良(一般:5チーム)
- その他指示以外の作業有り(一般:5チーム)

項目別減点数



主な減点項目

- No.1の分電盤・照明器具
- No.4のプルボックス・レセプタクル
- 補助審査項目

不具合箇所 写真



祝辞

経済産業省中部近畿産業保安監督部
斎藤近畿支部長 様

(全文)

本日ここに、一般社団法人大阪電業協会主催の、第50回電気工事士技能競技大会が盛大に開催されますこと、心からお祝い申し上げます。

貴協会の皆様方には、日頃より、電気保安行政に関し、御理解と御協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

本競技大会は、貴協会の組織力の向上、会員各社、社員の皆様方のスキルアップ、そして電設技術を学ぶ学生に対する業界のPRに繋がる取組であり、電気工事業者として他の模範となるものであると受け止めております。さらに、若手人材不足を解消するために、工業系高校や技術専門校を訪問して出前授業等を開催されるなど、業界の継続的発展に御尽力されておられます。このような取組を継続的に実施いただいていることに、敬意を表するとともに、本日の競技大会が実り多きものになりますように心から願っております。

また、本日は3年ぶりに「高校生の部」の競技も実施されると伺っております。本大会に参加されます選手の皆様方が、日頃の実力を遺憾なく発揮され、御健闘されますことを大いに期待しております。

さて、先月襲来した台風14号、15号の影響で、各地で土砂崩れや道路崩壊等が発生し、鉄塔や電柱が倒壊、配電線が断線するなどし、停電が発生しました。こうした自然災害に対し、貴協会会員の皆様方におかれましては、現場の安全、安心を第一に考え、大変な状況にもかかわらず、日頃より、被害状況の確認や、早期の復旧作業に御尽力いただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

経済産業省としても、電気保安行政を所掌する立場から、電力レジリエンスの強化や、持続的な電気保安体制の構築に取り組み、また現場を支える皆さんにもご協力いただきながら電気の「安定的な供給」と「保安の確保」に取り組んで参ります。

貴協会におかれましては、本競技大会の開催をはじめ、現場見学会や工業高校への会員企業の訪問、また大学生等を対象とした業界研究セミナーの開催など、幅広い活



動を通じて、技術力の向上と、若手入職者の増加を目指した取組を促進されています。

会員各社、社員の皆様におかれましては、今後とも、安全が最優先のもとに、電気事故の未然防止の取組と、次世代を担う若手人材の育成に御尽力いただくことを期待する次第であります。

結びといたしまして、本日の大会に参加されます選手の皆様並びに御臨席の皆様のご活躍と御健勝を祈念いたしまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

大会審査講評
審査委員長

(全文)

大阪府都市整備部住宅建築局
公共建築室設備課 松尾参事 様

選手の皆さま、お疲れさまでございました。

本日は、日頃培われた技能また練習の成果を、いかに発揮されたことと思います。

競技大会ということで、日頃と異なる緊張感や限られた競技時間内で完成させる必要があったため、ヒューマンエラーを起こしやすい環境でありました。そのなかでも、マスク等の感染対策を行った上で、安全第一で作業が行われており、非常に良い競技大会になったと思います。

【良好であった内容】

- ・施工課題については、丁寧に仕上げており施工品質への高い意識が伺えました。照明、コンセント箇所の仕上がりがよくできており、圧縮接続の不良もございませんでした。その他項目では大きなミスもなく、良好な仕上がりでありました。

【改善を要する内容】

- ・電線被覆の剥ぎ方・寸法不良が見受けられましたが、これは不点の原因となる恐れがあります。また盤面からの浮きやレセプタクルの割れが見受けられました。丁寧な作業を心掛けるよう改善をお願いいたします。

最後に、本日の競技大会を通じて得られました技能を、今後の現場作業に生かして頂くとともに、引き続き、安全で品質の高い電気設備の構築により、お客さまに安心して電気をお使い頂けますよう、ご尽力をお願いいたします。

本日は、大変お疲れさまでございました。



出場した高校生3組に
感想を聞いてみました

優秀賞

大阪府立生野工業高校



電気科3年 喜多 輝希

私は高校2年生まで電気工事にはあまり興味が無く、3年生になってもする事はないと思いながら学校生活を過ごしていました。3年生になってから友達に誘われ課題研究でモノづくりの大会に参加し、少し電気工事に興味が出てきた時に先生から技能競技大会のお話をいただきました。最初は断わろうか受けようか迷っていましたが、チャレンジしてみたいと思うようになり、選手になる事を決めました。最初は何もわからず、ミスも多くて、相方に迷惑をかけ申し訳なく思っていました。夏休みに1回講習会があり、指導員の方には間違っているところや分からないところを丁寧に教えていただきました。講習会のあとも

練習を行いました。ですが、タイムがのびなかったり同じ所をミスしたりして結構悔しく、相方のする所を自分がしたり、自分の所を相方がしたりと試行錯誤しながらタイムやミスを減らしていきました。夏休みも終わり2学期も始まり、技能競技大会まで2週間ぐらい前の時、妹が新型コロナウイルスにかかってしまい最後の調整等もあり行えずそれで本番を迎えました。大会が始まる直前までは緊張していましたが、大会が始まると緊張もせず最初はスムーズに行う事ができましたが、途中や完成間近でミスをしたりと結構ミスをしている印象でした。後隣の完成が早すぎてめちゃくちゃ焦っていました。結果的には優秀賞を取らせていただきますごくびっくりもしながらすごく嬉しかったです。

電気科3年 中野 輝芳

私がこの大会に出場しようと感じたきっかけは興味があったからです。私自身電気工事の作業を行うことがとても好きでして、先生に参加の意思を伝えました。そして、練習が本格化してくると、なかなか難しく一時は心が折れかけた時もありました。大会で勝つためには最低限時間内に製作しなければいけないことや、誤結線をしてはいけ

ないこと、作品を出来るだけきれいに仕上げるのが条件となっており、練習のころに何度も苦戦した記憶があります。また、相方が体調を直前で崩した時は、もう勝つのは無理なのかなと思ったりもしました。しかし、決してあきらめずに必死に練習を重ね、自分でも納得のできる作品を作ることができました。そして大会当日、現地に着くと自分達以外にも、同じ高校生や、一般の部で参加する会社の人が大勢いて、私自身ものすごく緊張していました。大会が始まると、それまで以上に緊張してしまい、手が震えるほどでした。しかし、作業に集中することができた後は、緊張すら忘れてしまうほどにスムーズに動くことができました。そして時間ギリギリにはなりましたが、無事完成させることができ、結果としても優秀賞ということで、勝利することができました。この大会から「どんなことでもあきらめなければ報われることもある」と学びました。



優良賞 大阪府立堺工科高校

電気科3年 藤本 一寿

私は、高校生ものづくりコンテストで目標だった全国大会へ出場することができず、リベンジする機会として技能競技大会に出場しました。私はすでに半年ほど電気工事の練習をしていたので、後輩に教えながらの挑戦でした。1人でする電気工事と違い、相方の作業の邪魔にならないように気を付けたり、作業を止めず流れるような作業をできるようになるのが難しかったです。何度も意思疎通を行い、施工が終わった後も話し合い、効率的に施工ができるように頑張りました。そういった努力があり大会本番はかなりうまくスムーズに息の合った施工ができたと思います。ですが、惜しくも優秀賞には届きませんでした。相方は2年生でまだもう1年あるので、来年は今年の雪辱を果たしてほしいです。



電気科2年 吉田 英司

電気工事競技大会の練習は、テスト期間や修学旅行期間で忙しい日々を過ごしていました。先生から大会の話聞き、私は何かの大会に出るのは初めてだったので喜びながら練習会に参加しました。その練習会では学校の授業よりとても細かく難しい内容でしたが、私が何度ミスしても先輩が優しく教えてくださいました。練習を続け、ミスも減りスピードも早くなりとても順調でした。本番では緊張で手が震えながらもなんとか作業を終わらせ二人でたくさんチェックして、もう問題ないと思っていましたが、なんと自分が組み立てたレースウェイのゴムブッシングが作業中にとれてしまっていて、その結果優良賞になってしまいました。ですが、これは一つの経験だと思うので、ただの失敗で終わらないよう次に生かしたいです。

努力賞 大阪府立淀川工科高校

電気科3年 大田 孟人

私は競技大会の講習や競技大会を振り返りとても自分の身になったと思います。競技大会に参加することでただ完成させるだけではなく「早く、正確に」を意識することの大切さを学び、どのようにすれば効率よく作業をすることが出来るかなど、様々なことを考える機会になりました。競技大会で得た技術は自分が社会に出たときにとても役立つと考え、これからも大切にしていきたいです。



電気科3年 後藤 慶次

私は競技大会に参加して、電気工事の奥深さを知りました。今までは資格を取ることを考えていましたが、大会やその練習を通して、資格を取ることは工事をする上でのスタートラインであることに気づきました。また、実際の工事の難しさや綺麗に仕上げることの意識の大切さを知ることができました。他校の作業を見て、技術の高さやスピードの速さを知り、自分もさらに技術を磨く必要があると思いました。

一世紀を超える配線器具事業の歴史に感銘



1. 開催日 2022年11月4日（金）
2. 見学先 パナソニックエレクトリックワークス
電材三重株式会社 本社工場(三重県津市)
3. 参加者 28名（16社）
4. 行程
 - 8:15 梅田ハービスエント 集合
 - 8:30 梅田ハービスエント 出発
 - 11:30~12:30 サガミ津桜橋店（昼食）
 - 13:00~15:00 津工場(三重県津市) 見学
 - ・1班 工場見学→展示場
 - ・2班 展示場→工場見学
 - 18:00 大阪着 解散

会員企業見学会は、資材製品に関する理解を深めるとともに、電気に関連する施設を見学することで幅広い知識を習得することを目的として1993（平成5）年から始まり、今回が第30回目となります。

2022年度会員企業見学会はウイズコロナの状況下、感染防止対策を実施した上で開催しました。

本社工場は伊勢湾西岸の三重県津市にあり、パナソニック創業製品の配線器具（アタッチメントプラグ）の伝統を受け継ぎ、スイッチ、コンセントを年間8,000万個生産しています。国内シェアNo.1である配線器具事業のマザー工場として1943年に設立、敷地面積約10万㎡、従業員数約950名が所属し、グループ企業を合わせて総数約1,800名が働いています。

主な商品として、住宅用配線器具、熱線センサースイッチ、スマートメータ、人感センサ、フル2線リモコン等を生産しています。初めに工場の概要説明をして頂きました。工場ではより良い商品の実現のため、**五設一体思想**※をベースに、より高品質な商品づくりを行っています。

工場内は金型～部品づくり～組立までを一貫して行う一貫内製化により高品質を確保しています。

2班に分かれて案内して頂き、1918年創業以来の歴史や様々な商材を見学しました。大正から昭和、平成のくらしを再現した展示や海外の様々なデザインの配線器具の展示がありました。工場では配線器具の部品製造～自動組立～検査梱包～出荷までの配線器具製造棟での製造工程を見学しました。

工程の多くを自動化しており、金型、部品、製品組み立てまでを一貫して生産しています。また組み立て工程では自動搬送が徹底され、検査工程の自動化も推進されています。

パナソニックの配線器具事業は100年を超える歴史があり、生産技術については先進技術を取り入れながら、効率と品質を追求し進化し続けています。

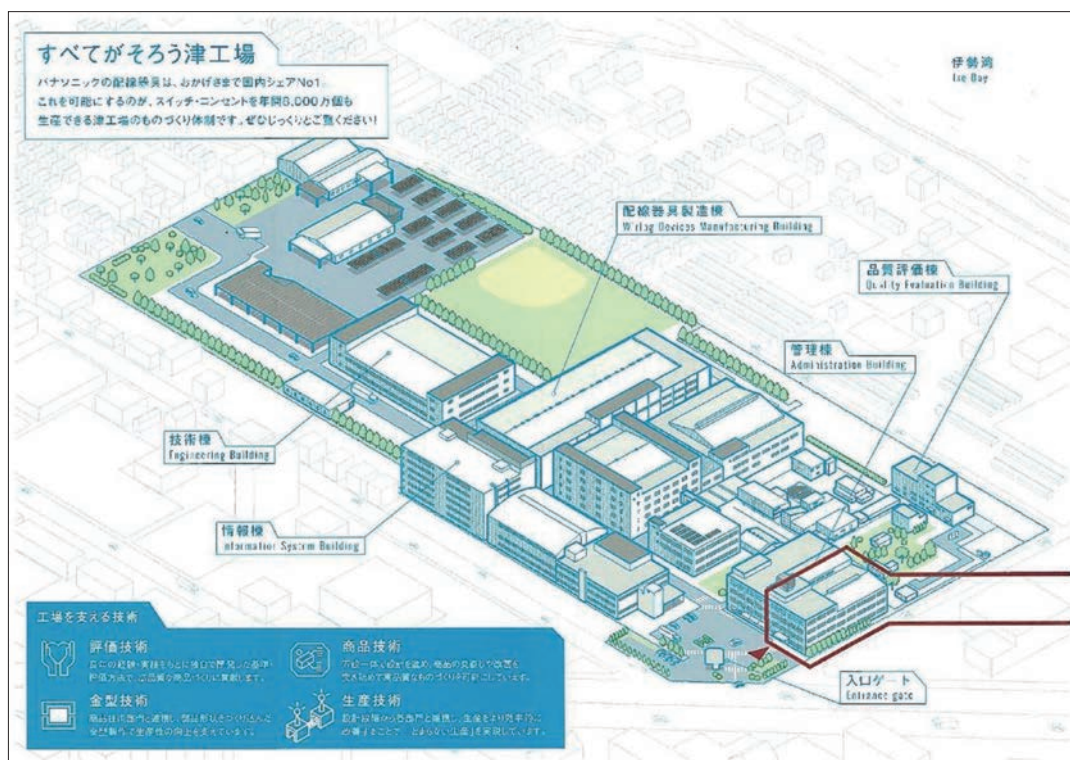
2時間に渡る見学行程では丁寧な説明をして頂き、分かりやすく興味を持って見学をさせて頂き有意義な一日となりました。（志智 記）

※「マーケットニーズ・設計」「商品設計」「工法設計」「工程・管理設計」「設備・金型設計」の各部門が同時に商品開発を始める事でスピーディーに合理的なものづくりを実現する。



パナソニック
エレクトリックワークス
電材三重株式会社 HP

津工場の
パンフレットより



安全で品質に優れた電気設備工事の施工を目指して！

(一社) 日本電設工業協会主催 2022年度 登録電気工事基幹技能者認定講習

(一社) 日本電設工業協会では、2008(平成20)年4月より、建設業法施行規則第18条の3の6の規定に基づき「登録電気工事基幹技能者」の認定評価を行うための講習を開催しています。同会では「電気工事業」と「電気通信工事業」の2業種を取り扱っています。

なお、(一社) 日本電設工業協会では、建設マスター(優秀施工者 国土交通大臣顕彰者)および建設ジュニアマスター(優秀施工者 土地・建設産業局長顕彰)の推薦条件として、登録電気工事基幹技能者の認定資格を取得していることを規定しています。

2022年度 登録電気工事基幹技能者認定講習

- 日 時 10月29日(土)～30日(日)
9時～17時
- 場 所 大阪府電気工事工業組合6階
(大阪市北区本庄東)
- 主催者 (一社) 日本電設工業協会 関西支部
- 受講者 66名
- 合格者 68名(うち2名は試験のみ 合格率100%)

1. 「登録電気工事基幹技能者」に求められる役割

以下の役割発揮により、生産性が高く、安全で品質に優れた電気設備工事施工の実現を図ること

- (1) 現場の状況に応じた施工方法等の提案、調整
- (2) リーダーシップの発揮による、現場施工の円滑化および施工品質向上の実現
- (3) 現場代理人(現場管理技術者)や職長(技能者の指揮・監督者)に対する連絡、調整、提案

2. 「登録電気工事基幹技能者」認定講習の概要

- (1) 認定講習(2日間・11時間)
- (2) 学科試験(1時間、合格:60点/100点満点)
 - ・選択問題 14問(配点70点)
 - ・記述式 1問(配点30点)

※受講者が電気工事現場において、職長の立場で特に留意した事項とその処置または対策等を問う

3. 「登録電気工事基幹技能者」認定講習の受講条件

- (1) 第一種電気工事士免状を取得していること
- (2) 電気工事若しくは電気通信工事の直接施工業務に従事し、10年以上の実務経験があること
- (3) 労働安全衛生法第60条による職長教育を修了し、受講申込日までに3年以上の職長経験を有している者

登録電気工事基幹技能者認定講習

	科 目	時 間	講 師(敬称略)
1 日 目	電気工事における新材料・新工法、法改正等OJT教育	2時間	浅海電気(株) 大鹿 徳夫
	施工・原価・事務管理、関連法規	2.5時間	(株)クリハラント 和田 雅美
	工程・資材管理	2時間	住友電設(株) 居安 正智
2 日 目	登録電気工事基幹技能者の概要	1時間	中央電設(株) 小西 修一
	安全・労務管理	2時間	(株)きんでん 岡田 靖彦
	品質・環境管理	1.5時間	栗原工業(株) 中村 寛

当日は昨年度同様、受付で検温を行い、発熱状態にないことを確認してから、会場に入場していただき、講師演台にはアクリル板を設置し、受講者席はスクール形式で講義を進行しました。

講義終了後、引き続き行われた学科試験には、68名が挑戦され、後日、試験結果が公表され、全員が合格されました。合格された受講者の皆さま、おめでとうございます。引き続き現場での安全作業をお願い致します。

講師を務めていただきました6名の皆さま、大変お世話になりました。紙面をお借りして心から御礼申し上げます。

(一社) 日本電設工業協会では毎年当講習を開催しておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



熱心に聴講する受講者の皆さん

(一社) 大阪電業協会主催 2022年度 職長教育

「労働安全衛生法第60条」では、新たに職長（作業中の労働者を直接指導または監督する者）になった第一線の現場監督者に対して、事業者が、作業手順の定め方、指導および教育の方法、設備の保守管理の方法等の教育を行うことを義務付けています。

一方「労働安全衛生法第16条」では、建設業における通常50人以上の混在作業現場において、関係請負人側が選任する職として安全衛生責任者（元請や他職種との連絡・調整を行い、労働災害防止に当たる者）を規定しています。

(一社) 大阪電業協会では、これら法令に定められた「職長・安全衛生責任者教育」を1975(昭和50)年から毎年実施しており、今回で延べ3,233名の会員企業社員が受講されました。

職長教育修了後、3年以上の職長経験を有している方は、登録電気工事基幹技能者認定講習の受講資格のひとつを満たすことになります。

今年度の職長教育も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年の半数以下となる18名を定員とし、1社1名限定で受講者を募集しました。

当日は昨年度同様、受付で検温を行い、発熱状態にないことを確認してから、会議室に入場していただき、講師席にはアクリル板を設置し、受講者席はスクール形式で机にひとり掛けとし、十分な間隔をとって講義を進行しました。

1日目の林講師は、既に社内での豊富な講師経験をお持ちであり、教材以外の資料を取り混ぜながら落ち着いた語り口でお話されていました。

2日目の中村講師は、グループワークに主体を置き、受講者への問いかけを行いながら、熱のこもった講義を展開されていました。

両講師とも、進行にメリハリをつけながら合間には自己の余談等も取り入れ「飽きさせず、疲れさせない」2日間の講習となりました。



1日目(林講師)

2022年度 職長教育	
■日 時	11月16日(水)～17日(木) 9時～17時
■場 所	(一社) 大阪電業協会 会議室
■講 師	1日目：住友電設㈱ 林 達也 氏 2日目：栗原工業㈱ 中村 寛 氏
■受講者	10名
■内 容	学科・演習(14時間) ①職長、安全衛生責任者の役割(2時間) ②異常時、災害発生時における措置(1.5時間) ③現場監督者として行うべき労働災害防止活動(2時間) ④作業手順の定め方、労働者の適正な配置(2時間) ⑤労働者に対する指導・監督の方法(2.5時間) ⑥危険性・有害性等の調査、調査結果に基づき講ずる措置(4時間)

受講者の皆さま、2日間お疲れさまでした。学んだことを現場で生かし、引き続き安全作業をお願い致します。また、講師を務めていただきましたお二人につきましては、大変お世話になりましたお二人につきましては、紙面をお借りして心から御礼申し上げます。

(事務局 寺田記)



2日目(中村講師)

働きやすい職場環境になっていますか？

「働き方改革」に関するアンケート調査結果

- 目的** 国の政策方針でもある「働き方改革」に関する検討の一環として、年次有給休暇取得や長時間労働抑制等現状を明らかにすること。
- 対象** (一社) 大阪電業協会会員企業139社
- 方法** 2022年12月に協会ホームページ及びメールマガジンにて調査依頼
- 対象期間** 2021.4～2022.3 (令和3年度)



労務・安全委員会では、従来「電工及び現場代理人の労務賃金」の調査を重ねてきましたが、昨今、建設業界取り巻く環境も変化し、国の政策方針でもある「働き方改革」が当業界にも求められています。それを受けて、昨年12月に3回目となる「働き方改革に関する調査」を実施しました。調査対象とさせていただいた各会員企業様におかれまし

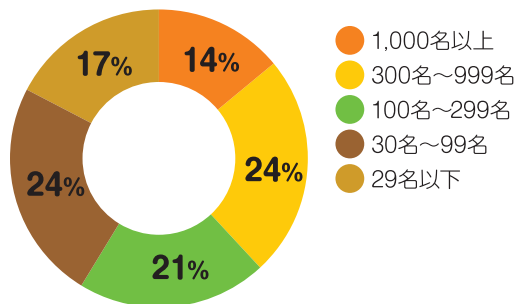
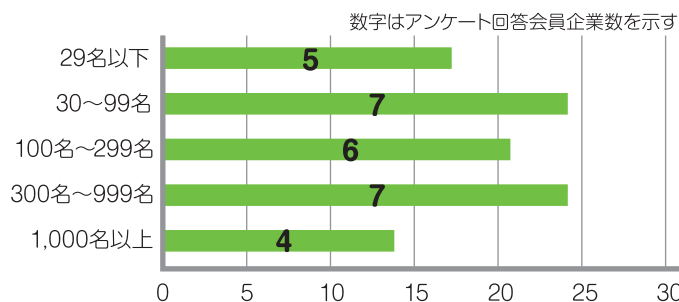
ては、お忙しい中を調査にご協力頂き誠にありがとうございました。

「労務・安全委員会」では、この集計結果を協会ホームページに会員限定で公開していますのでぜひご覧ください。

アンケートの集計結果

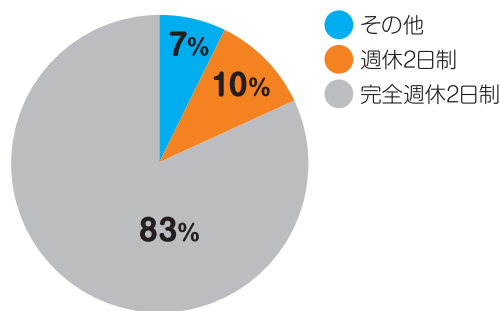
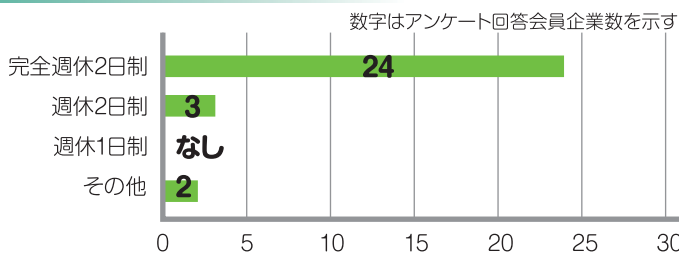
アンケート回答29社対象

Q1. 従業員数



回答頂いた会員企業の従業員構成比は「30名～99名」と「300名～999名」がそれぞれ7社(24%)と最も多く、次いで「100名～299名」が6社(21%)、「29名以下」が5社(17%)、「1,000名以上」が4社(14%)という構成比となっている。

Q2. 休日制度



回答29社に対し「完全週休2日制」が24社(83%)、「週休2日制」が3社(10%)、「その他」2社(7%)、「週休1日制」は導入無し

※ その他は1年単位の变形労働、年間カレンダー

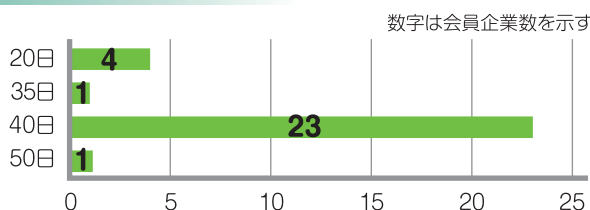
※週休2日制とは週2日の休みが月1回以上あり、他の週は週1回の休みとなる休日制度。

Q3. 2021年度の年次有給休暇取得状況

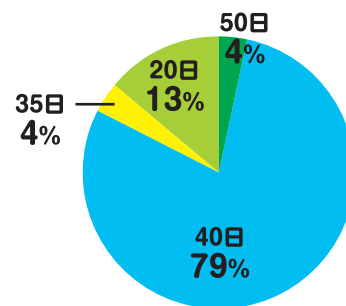


会社全体では平均取得率(45.3%)、平均取得日数(9.3日)となっている。部門別では取得率、取得日数ともに「事務部門」「営業部門」「技術部門」の順となっており、「技術部門」は他部門に比べて率・日数とも少ない。(数値29社平均)

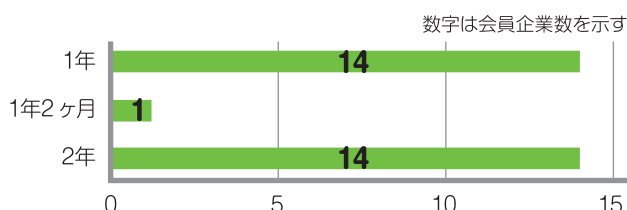
Q4. 1年間の最大有給休暇付与日数(繰り越し日数を含む)



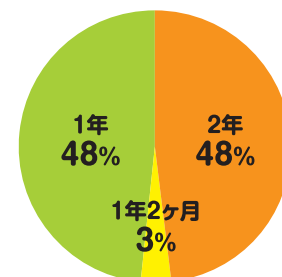
1年間の最大有給付与日数は「40日」が最も多く23社(79%)。次いで「20日」が4社(13%)「35日」が1社(3%)、「50日」が1社(3%)となっている。



Q5. 有給休暇の最長繰り越し期間



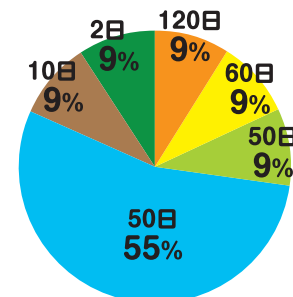
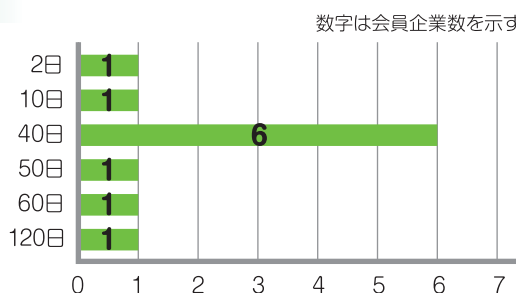
有給休暇の繰り越しは「1年」が14社(48%)、「2年」が14社(48%)、「1年2ヶ月」が1社(4%)となっている。



Q6. 積立有休制度の有無

最大積立可能日数は「40日」が6社(55%)、以下「2日、10日、50日、60日、120日」が各1社(9%)となっている。(制度なし18社)

※「積立有休制度」とは失効する有給休暇のうち、年一定数の上限を決めて積立し傷病や介護など特別な事由が発生した場合に使用できる制度



Q7. 有給休暇計画的付与制度の有無と内容

制度あり	15	51.7%
制度なし	14	48.0%

※制度ありの内容

- 年間5日・計画表
- 有休取得奨励日の制定
- 夏季・年末年始休暇の前後に有給休暇を付与

- 年次有給休暇取得計画表の作成と活用
- 年次有給休暇3日分について2グループに分けて計画的に付与
- レインボー休暇(特別休暇5日)

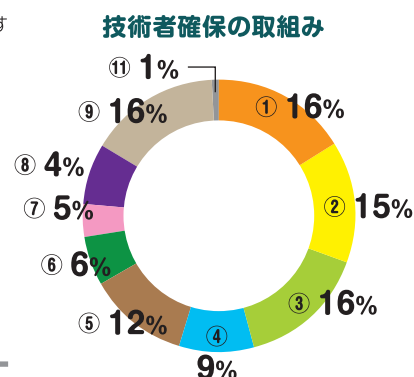
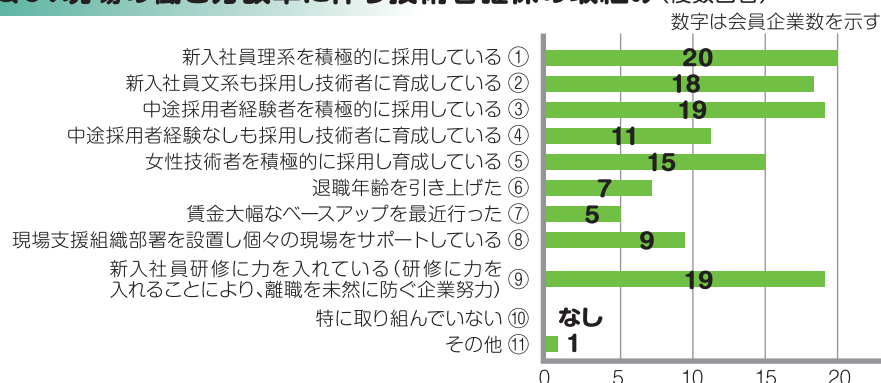
Q8. 有給休暇の取得を促進するための取組み例

(対象 29社) ※項目により未回答あり

「積極的に休暇を取得させる仕組み作り」と「時間単位・半日単位で柔軟な有給取得制度」が全体の72.4%と高く、一方では「身近な上司による有給休暇の取得奨励」、「身近な上司や先輩の積極的な有給休暇の取得」もそれぞれ全体の65.5%、55.1%と高い取組みとなっている。会社の規模にかかわらず積極的な有給休暇の取得促進が見られる。

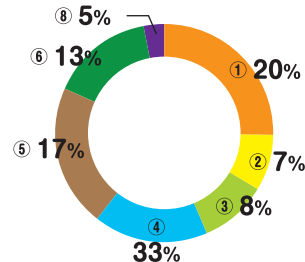
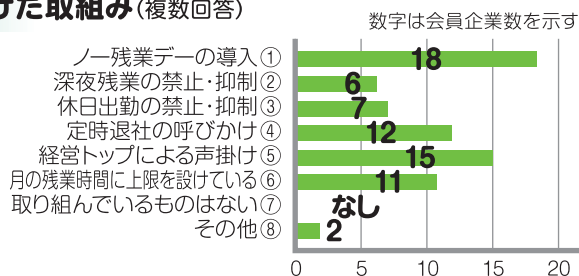
(それぞれ当てはまるものすべてに○)	導入済み		導入未
	役立っている	役立っていない	
1. 積極的に休暇を取得させる仕組み作り (有給休暇残日数の通知、まとまった休暇取得推奨など)	21	0	3
2. 身近な上司による有給休暇の取得奨励	19	3	3
3. 身近な上司や先輩の積極的な有給休暇の取得	16	2	7
4. 部下の有給休暇取得率を管理職の評価に反映	1	1	25
5. 会社や部署で取得日数の目標値の設定	11	0	12
6. 仕事の標準化(他のメンバーで仕事を代替できる)	10	0	14
7. 時間単位・半日単位など柔軟な有給取得制度	21	0	3
8. (計画的有給休暇取得制度)	0	0	0

Q9. 現場の働き方改革に伴う技術者確保の取組み(複数回答)

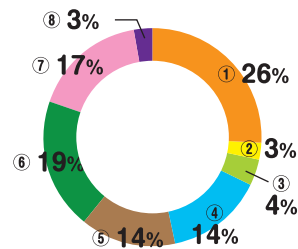
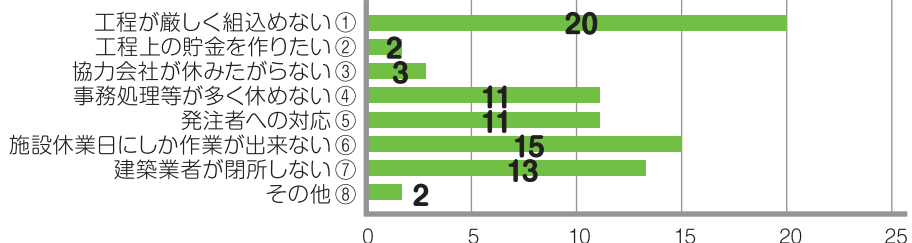


Q10. 長時間労働の抑制に向けた取組み(複数回答)

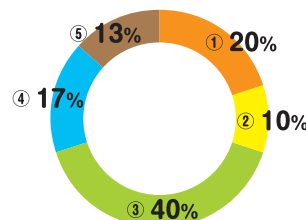
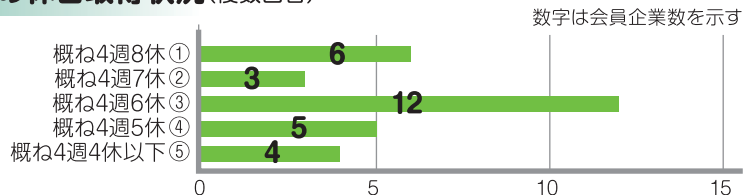
会社の規模にかかわらず「ノー残業デーの導入」が全体の33%と最も多く、以下「経営トップの声掛け」が全体の20%、「定時退社の呼びかけ」が全体の17%と続く。
その他の取組みとしては、36協定(上限)の周知、生産性向上のためのプロセス改善などが挙げられている。



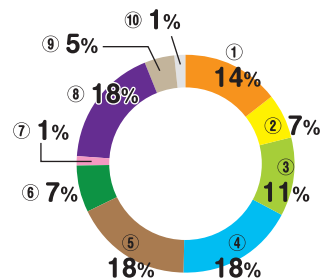
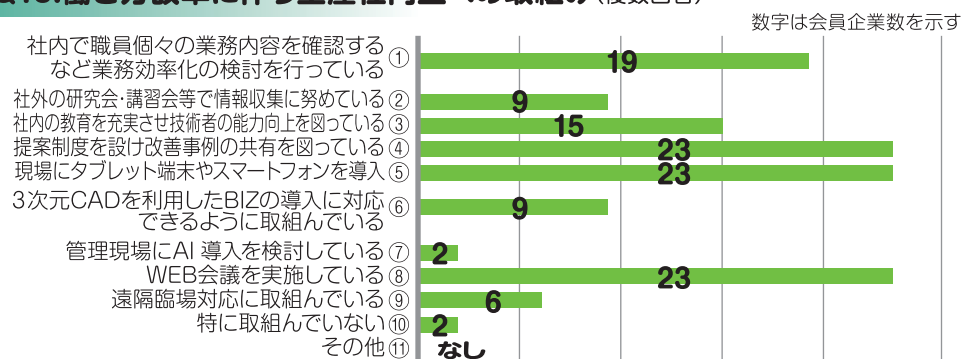
Q11. 現場の週休2日が進まない要因(複数回答)



Q12. 現場技術者の休日取得状況(複数回答)

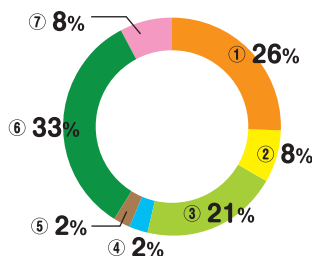
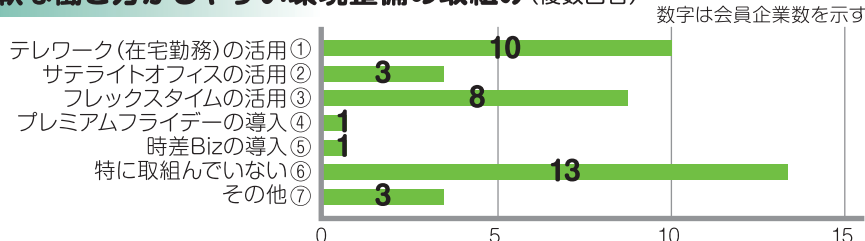


Q13. 働き方改革に伴う生産性向上への取組み(複数回答)



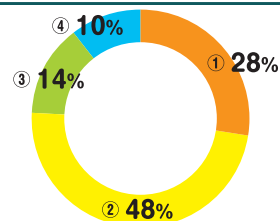
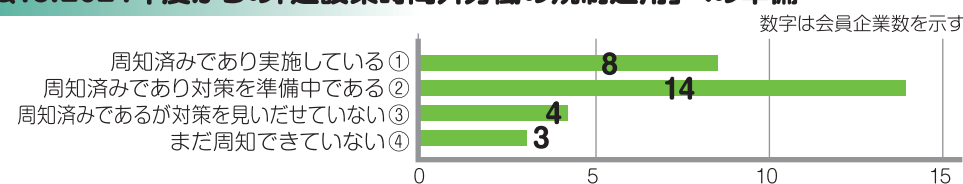
生産性向上への取組みでは「提案制度を設け改善事例の共有を図っている」「現場にタブレット端末やスマートフォンを導入している」「WEB会議を実施している」会社は全体の18%で会社規模にかかわらず各社とも力を入れている。次に「社内で職員個々の業務内容を確認するなど業務効率化の検討を行っている」会社が14%、「社内の教育を充実させ技術者の能力向上を図っている」会社が11%と続く。「3次元CADを利用したBIZの導入に対応できるように取組んでいる」会社は全体の7%とまだ割合が低い、各社取組みは始めている。

Q14. 柔軟な働き方がしやすい環境整備の取組み(複数回答)



コロナ過の影響もあり「テレワーク(在宅勤務)の活用」が急速に増加している一方「特に取組んでいない」も全体の33%となっている。

Q15. 2024年度からの「建設業時間外労働の規制適用」への準備



回答頂いた29社の内「周知済みであり対策を準備中である」が全体の48%と周知はしているが準備が進んでいない。→対応が急務である。

時代に合った業界PRが必要か！ 一人でも多くの学生に入職していただくために

大学電気系教員との意見交換会

■日 時 12月7日(水) 15:00~16:45

■場 所 セミナーハウス クロスウェーブ梅田
大阪市北区神山町 1-12

■参加者(大学側) 5名

大阪工業大学	田熊 隆史 教授
大阪産業大学	草場 光博 教授
関西大学	米津 大吾 准教授
立命館大学	久保 幸弘 教授
大阪公立大学	石亀 篤司 教授

(協会側) 11名

人材部会	部会長 岩本 浩一
	部 員 秋田 好之、由井 秀洋、 花市 竜章、高松 光示、 乾 克彦、仙崎 哲也、 原 宗一郎、嘉納 秀造
事務局	土井 俊明、福岡 利明(司会・進行)

- 次 第
1. 開会挨拶 人材部会 部会長 岩本 浩一
 2. 出席者紹介
 3. 協会からの報告
 - ①(一社)日本電設工業協会の取り組みと電気設備工事業界の現状
 - ・スローガン、3つのアプローチの説明
 - ・建設業の高齢化、建設資材の高騰について説明
 - ・働き方改革の具体的なアプローチの説明
 - ②電気設備工事業界研究セミナー、2021年度実施報告と2022年度の実施計画
 - ③現場見学会の実施報告(2022年11月7日)
 - 開催時期として夏休み(お盆明け8月下旬~9月上旬)期間を希望される声が多かった。

意見交換(要旨)

①先生方より質問(協会より回答)

電気設備工事業界の魅力は何ですか？

- 電気だけの知識ではビルは建たず、色々と複合する設備や建築の工程を理解していないと作業効率を上げることができない。他業種の方が作業内容や進捗を理解すると自分の能力以上のことが発揮できる。
- 電気は電力会社が作るのが常識であったが、これからは我々の業界が再生可能エネルギーを作る時代なので、まだまだ伸びしろがある。



②協会より質問(先生方のご意見)

先生方が今後電気設備工事業界に期待されるものは何ですか？

- ◆学生は休日を確保したがっている。残業があるのは理解しているが、ワークライフバランスが重要と考えている。
- ◆情報系を希望する学生が多く、iPadの活用にも興味があり、電気設備の業界でもITツールの活用を見せたパンフレットを作成して学生の興味を引くのはどうか。
- ◆生産性向上や業務の効率化にITツールを活用されているとのことだが、データサイエンスに興味を持っている学生には良いPRになると思う。
- ◆建設業界が入職者不足で担い手の確保に苦慮されている中、若年層が徐々に減っていく状況にあっては、事業規模を小さくしていくか、一人当たりの労働時間を延ばすか、女性や外国人に頼るしかないと感じる。
- ◆働き方改革でしっかり休むことは当たり前の世代であるが、単に労働時間を短くするのではなく、やりがいや自分の生活とのバランスを訴えかければいいと思う。
- ◆企業ホームページに力を入れているのは当然だと思うが、若者にはSNS(Twitter、YouTube等)で発信してアピールすることが必要である。
- ◆設計図をゲーム感覚で作れるとなると学生は飛びつき、興味を示すと思われる。

工業系高校教員との意見交換会

■日 時 2023年2月21日(火) 15:00~17:15

■場 所 国民会館12階小ホール
大阪市中央区大手前2丁目1番2号

■参加者 (高校側) 9名

生野工業高等学校	西村 大輔先生
東淀工業高等学校	大西 光先生
都島工業高等学校	磯村 和也先生
都島第二工業高等学校	坂本 高英先生
今宮工科高等学校	田中 篤先生
佐野工科高等学校	山口 俊和先生
城東工科高等学校	中田 浩史先生
西野田工科高等学校	鈴木 剛先生
淀川工科高等学校	中尾 諒先生

(協会側) 13名

人材部会	部会長 岩本 浩一
	部 員 秋田 好之、花市 竜章、 高松 光示、乾 克彦、 原 宗一郎、嘉納 秀造
中小部会	会長代行 橋本 博司
	運営委員 竹内 康彦
技術・技能委員会	
	専門委員 福住 孝利
事務局	土井 俊明、寺田 憲夫、 福岡 利明(司会・進行)

■次 第 1. 開会挨拶 人材部会 部会長 岩本 浩一
2. 出席者紹介
3. テーマ

- (1) 生徒に対するアンケート結果
Web 5校397名 紙 7校429名 計826名
- (2) 先生が生徒に勧める業界
(企業選びの基準) とは・・・
- (3) 生徒に対する技術指導
(3年ぶりに開催した技能競技大会高校生の部)
- (4) 先生方からの質問に対する回答
 - ①協会で施設見学のとりにまとめや案内を実施することは可能か
 - ②電気工事士以外で高校時代に取得しておいた方がいい資格
 - ③電気に関する知識、技術で最低限できておいてほしいもの
 - ④求める人物像
 - ⑤離職率を減らすための取組み
 - ⑥災害事例と安全教育
 - ⑦現場での担い手不足対策

4. 閉会挨拶 中小部会 会長代行 橋本 博司

意見交換(要旨)

協会側より

- 現場見学会の開催方法の一つとして、ウェアブルカメラ等を活用して映像を通じて電気設備工事の様子を学生に見ていただく方法も検討したい。
- 学生時代に取得していただくとありがたい資格としては「第一種電気工事士」「2級電気工事施工管理技士」「消防設備士甲4」などがある。
- 電気工事の現場は停電工事が多く、災害事例としては感電よりも高所からの転落・墜落、切創事故が中心であるが、ルールさえ守っていれば危険な業種ではない。
- 離職防止の一つとして「一人にしない」ことを心がけている。

先生方より

- ◆技能競技大会に出場して改めて生徒に対する技術指導の伝承が必要であると認識したので、昨年のような教員に対する技術指導をお願いしたい。
- ◆元気でコミュニケーションがとれる学生は減っている。
- ◆ゲームやアニメの世界を理解してもらえると学生に近づきやすい。
- ◆求人票を電子化したので、生徒にとって従来は紙でしか見ることができなかったものがスマホで見ることができ、希望する職種や企業の検索もしやすくなっている。
- ◆東淀工業に新しい工業高校を建設する計画がある。新しい施設で新しい工業教育を目指す中で、現場に近い実習棟など、どのような施設が有効か企業側の意見も取り入れていきたいので協力してほしい。



各大学・高校の先生方につきましては、貴重なお時間をいただき誠にありがとうございました。

就活学生に業界を熱くPR

今回で第7回目となる「電気設備工業業界研究セミナー」は、会員企業25社がブースを出展し、48名の学生が来場されました。



業界の将来性を熱く語る岩本部会長



《開催日時》2023年1月28日(土) 13:00~17:10

《開催場所》大阪産業創造館3階、4階

●4F イベントホール

- 12:30~ 受付開始
- 13:00~14:15 自己PR~「ガクチカ」ってどう作ればいいの?~ (大阪労働協会)
電気設備工業業界の概要と将来性 (岩本人材部会長)
出展企業による1分PR (24社)

●3F マーケットプラザ (企業ブース交流)

- 14:30~14:55 (1社目) 主催者が指定した企業を訪問
- 15:00~15:25 (2社目) 主催者が指定した企業を訪問
- 15:35~16:00 (3社目) 自由に企業を選択して訪問
- 16:10~16:35 (4社目) 自由に企業を選択して訪問
- 16:45~17:10 (5社目) 自由に企業を選択して訪問

今回は、人材部会メンバーで検討した「**明るい未来につなぐ街づくり**」をキャッチフレーズにセミナーを企画し、文系・理系を問わず各大学や専門学校にチラシやポスターを持参またはDMを送付して開催PRを重ねてきました。

13時からのセミナーでは、(一財)大阪労働協会より講師(道廣茂樹様)をお招きし、業界研究セミナースタート前のウォーミングアップとして「**学生生活で力を入れて(取り組んだ)こと(ガクチカ)**」をテーマに人事担当者にPRするコツを中心にお話していただきました。後半には「就活検定」と称する「自分の適性探しツール」を紹介され、参加学生はスマホで実際に体験していました。続いて、岩本浩一人材部会長より「**電気設備工業業界の概要と将来性**」というテーマで、当業界の仕事内容や職種、必要な資格等をわかりやすく学生に伝えました。

その後、初めての取組みとして、3階出展企業による「**1分企業PR**」(25社中24社が登壇)を実施し、自社のカラーをPRするとともに各ブースへの呼びかけを行いました。都度、会場が拍手に包まれる中、学生の皆さんはブースを訪問する企業を決めようと、逐一メモをとりながら真剣に各企業のプレゼンに耳を傾けていました。



セミナーに参加した学生の皆さん

14時30分より3階にて企業ブース交流が始まりました。会員企業の中から希望された25社がブースを出展し、訪問する学生に対し企業の強みや特色を学生に熱く丁寧に語っていました。「**就活なんでも相談コーナー**」として(一財)大阪労働協会さまにもブースを構えていただき、訪問する学生の質問に丁寧に回答していただきました。

今回のセミナーに参加された学生の皆さんからは「電設業界への興味が深まった」「同じ業界の多くの企業からたくさん話が聞けた」「自己PRの仕方がわかってよかった」等々、たくさん喜びの声をいただきました。

また、学生や出展企業様に記入していただいたアンケートをもとに、来年に向けて反省点や改善点を整理し、学生にとってわかりやすい「入職促進事業」として年々進化させていきます。



「ガクチカ」をテーマに講演する道廣さま

1分企業PRで 熱弁する皆さん



大阪電業協会はこれからも電気設備工事業界を目指す学生さんを全力で応援いたします。

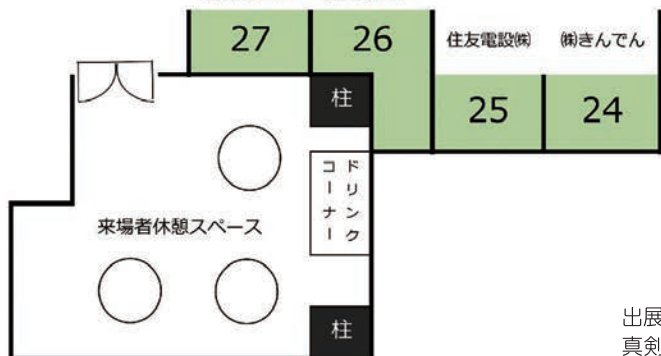
企業交流ブース配置図

3Fマーケットプラザ

4	3	柱	2	1
(株)キンコー	浅海電気(株)		(株)HEXEL Works	(株)サンテック
旭日電気工業(株)	(株)関電工	東海電設(株)	(株)トーエネック	三栄電気工業(株)
9	8	7	6	5
14	13	12	11	10
三和電気土木工事(株)	三宝電機(株)	アイ電気通信(株)	(株)中電工	藤井電機(株)
日本電設工業(株)	栗原工業(株)	野里電気工業(株)	中央電設(株)	(株)クリハラント
19	18	17	16	15
23	22	柱	21	20
近畿設備(株)	(株)四電工		昭和電業(株)	(株)川瀬電気工業所

大阪府
就活相談コーナー

大阪電業協会
就活相談コーナー



今回出展された会員企業25社は
以下のとおり。(五十音順)

A列

アイ電気通信(株) 三和電気土木工事(株)
浅海電気(株) 昭和電業(株)
(株)川瀬電気工業所 住友電設(株)
(株)関電工 中央電設(株)
旭日電気工業(株) (株)中電工
近畿設備(株) 東海電設(株)
(株)キンコー (株)トーエネック
(株)きんでん 日本電設工業(株)
栗原工業(株) 野里電気工業(株)
(株)クリハラント 藤井電機(株)
三栄電気工業(株) (株)HEXEL Works
(株)サンテック (株)四電工
三宝電機(株)

B列

C列



出展企業の説明を
真剣に聞く学生の皆さん

百聞は一見に如かず！ 難波ド真ん中の電気工事現場をリアル見学

2022年11月7日(月)、株式会社きんでんが電気設備工事を施工する現場において、現場見学会を開催しました。今回は、電気工学系大学生を中心に5校26名に参加いただき、実際の施工現場の見学のみならず、施工関係者との質疑・応答の場を設けました。普段、見るできない建築現場に参加者は目を輝かせながら見て回りました。

建物概要

1. 工事件名 難波中二丁目開発計画のうちA敷地計画
2. 住 所 大阪市浪速区難波中2-20-2
3. 建物用途 ホテル(地上34階・塔屋1階)
4. 施 主 Centara Osaka 特定目的会社
5. 建築会社 大成建設株式会社
6. 電気設備施工 株式会社きんでん

【参加者】

- 参加人数 26名(学生24名 教諭2名)
- 参加校 5校(大阪公立大学・大阪電気通信大学・立命館大学・大阪工業大学・東大阪高等職業技術専門学校)

見学会

午後1時30分から現場見学会がスタートし、広報委員会の早坂稔委員長は開会あいさつの中で、冒頭開催にご協力いただいた大成建設株式会社様と株式会社きんでん様に感謝の言葉を述べました。続けて参加者らに「リアルな現場を実際に見てもらうことは非常に大切だ」と強調した上で「本日の現場見学会で、見て聞いて学んだことを、ぜひ学校へ持ち帰り、周りの人に教えてあげてほしい」と呼び掛けました。

その後、大成建設株式会社の総括所長を務める森島克之様からあいさつを頂戴し、同社設備長の賀門秀人様からは建物の概要について説明がありました。続けて、株式会社きんでんの現場代理人を務める片岡茂樹様より電気設備に関する説明があり、司会より現場見学に関する注意事項が示され、オリエンテーションは終了しました。

その後、参加者らは2班に分かれて現場を見学。竣工を目指し、多くの作業員が作業する中で、受変電設備や発電設備といった電気設備、屋上ヘリポートや客室、防災センターといった建物内の施設を1時間かけて巡りました。参加者たちは、現場を先導した片岡様と同社の徳永剛志様の説明に熱心に耳を傾けるとともに、実際の「現場」を肌で感じていました。



現場見学終了後には質疑・応答の時間が設けられ、参加者たちから設備や施工に関する多くの質問が飛び交い、施工関係者たちは分かりやすく丁寧に回答しました。予定していた現場見学会の時間はあっという間に過ぎ、大盛況で幕を閉じました。

また、参加者のアンケートには、電気設備工事業界への興味が上がったという回答や、新鮮で興味深い経験ができたという回答が多くありました。今後も広報委員会ではこの現場見学会を「業界を理解していただくための重要な事業」であることを再認識し、継続して実りある内容にしてまいります。

最後に、今回の現場見学会にご理解とご協力をいただいた大成建設株式会社様、株式会社きんでん様の各関係者の皆さまへ紙面をお借りして心から御礼申し上げます。

(田中(健) 記)



これは、面白い!・・・「自慢大賞」発表

テーマ 「電気設備のある暮らし」「電気設備をつくる人々」「電気設備をまもる人々」

募集期間 2022年10月1日～2022年12月31日

上記のテーマ、期間で募集したところ、5名6作品の自慢がありました。ありがとうございました。
広報委員会メンバーによる厳正な審査の結果、以下の自慢作品が選ばれ、広報委員長も思わず「これは、面白い!」という声を上げました。このたびは「自慢大賞」おめでとうございます。



自慢大賞

彦根城の夜桜

自慢者

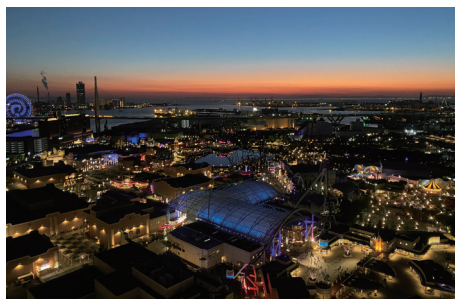
(一社) 大阪電業協会 事務局
木下真澄さん



自慢者
コメント

寒い日でしたが、彦根城まで行った甲斐がありました。ライトアップのおかげで綺麗な夜桜が見ることができました。昼間の桜もちろん綺麗なのですが、照明を浴びることで桜の花が一段と輝きを増し、逆さ富士とも思える雄大な佇まいが神秘さ、静けさを物語っています。照明は、花を輝かせ、人の心をほっこりさせてくれる、私はそんな電気設備のある暮らしに感謝しています。

その他の自慢作品はこちらです。今回は残念でしたが、広報委員会
一同、また次回の自慢を心よりお待ちしております。



USJの夜景

(浅海電気㈱ 藤澤春花さん)

ホテルから見えたUSJの
明かりがとてもきれいで、
思わず写真を撮りました。



「風物詩」泉州地域

(浅海電気㈱ 山森菜緒さん)

地元に限らずですが、秋になるとだん
じり祭りの開催に向け提灯が飾られ
ます。冬が近づき、日が暮れるのが早
くなる9月の中頃から明るく照らし
てくれる泉州ならではの灯りです。帰
り道、この灯りにホッとします。

光るクリスマスツリー絵画

(㈱きんでん 渡辺康司さん)

とある絵画教室で、子供たちが光る
絵の具を使って描き上げたクリスマ
スツリーです。暗闇の中で光を当て
ると、頑張って描いた絵が綺麗に浮
かび上がりました。電気の光は、子供
たちの創作意欲に役立っています。



空見の夜景

(浅海電気㈱ 矢尾潤美さん)

自宅近所の空見の丘公園からの夜景です。
あって当たり前の電気ですが、夜景を見ると、この美しい光景をまもる仕事の一部にか
かわっているのだとほんの少し自慢したい
ような誇らしい気持ちになります。

あなたの自慢のショットを募集

テーマ 「電気設備のある暮らし」「電気設備をつくる人々」「電気設備をまもる人々」

募集
(自慢)
期間

4/1～
7/31

会報
掲載月

2023年9月号

自慢
方法

協会ホームページの「フォト自慢」
コーナーより自慢できます。
ファイル形式はjpg、ファイルサイズ
5MBまでとさせていただきます。

自慢大賞

自慢作品の中から「これは面白い!」
と大阪電業協会広報委員長が思わず
声を上げてしまった作品を「自慢大
賞」として1万円分の商品券を贈呈さ
せていただきます。

会員の皆さまからの
応募をお待ちして
おります。



応募はここから!



自慢 ルール

- ・お一人何枚自慢していただいても構いませんが、必ずご自身が撮影した写真を自慢してください。
- ・自慢する際には必ず自慢話を記入してください。
- ・自慢写真は、自慢時点で著作権などの権利のすべてが自慢者に帰属するものに限りです。
- ・自慢後も自慢作品の著作権は自慢者にありますが、使用权は主催者に有します。
- ・自慢に際しては、必ず被写体の承諾および使用許可を得てください。自慢者と被写体およびその関係者の間で何らかの紛争が発生した場合も、主催者は一切の責任を負いかねます。
- ・内容が右記に相当すると主催者が判断した場合には、主催者は何ら通知などを行わずに、自慢の対象外とすることができるものとします。

- ①自慢ルール等に反するもの。
- ②公序良俗に反し、または反する恐れのあるもの。
- ③第三者の著作権、肖像権その他の権利を侵害し、または侵害する恐れのあるもの。
- ④第三者を誹謗中傷し、またそのプライバシーを侵害するもの。また、その恐れのあるもの。法令等に違反し、または犯罪行為に結びつくもの。また、その恐れのあるもの。当フォト自慢の趣旨などに合わないとは主催者が判断したもの。
- ⑤当フォト自慢の適正な運営を妨げるもの。また、その恐れのあるもの。
- ⑥自慢作品のデータが判読不能なもの。

工場におけるデマンドレスポンスを活用した バーチャルパワープラント (VPP) 実証実験について

住友電設株式会社
技術本部 技術部
上田 峰之



1. はじめに

これまでの電力システムは、基本的に電力各社が必要に合わせて供給を行うという形態が採られてきた。しかし、東日本大震災に伴う電力需要の逼迫を契機に、従来型の省エネ強化ではなく、需給バランスを意識したエネルギー管理を行うことの重要性が強く認識された。また、震災後、太陽光発電や風力発電といった再生可能エネルギーの導入が大きく進んだが、これらの発電は天候など自然の状況に左右されるため供給量を制御する事が出来ない状態にある。

こうした動きと並行して、太陽光発電、蓄電池、電気自動車、ネガワット（節電した電力）、コージェネレーション（家庭用燃料電池など）など、需要家側に導入さ

れる分散型のエネルギーリソースの普及が進んだ。

このような背景から、大規模発電所（集中電源）に依存した従来型のエネルギー供給が見直されるとともに、需要家側のエネルギーリソースを活用するようになってきている。

今回、取り上げた案件は、環境共創イニシアチブ (SII) のバーチャルパワープラント※1（以降VPP）実証事業の一例であり、リソースアグリゲータの下でVPP実証実験として参画した案件である。既設デマンド制御機能の活用や、空調機の小規模改造によるデマンド制御によるVPP対応した事例を紹介する。

2. VPP

工場や家庭などが有する分散型のエネルギーリソース※2（以下DER）は小規模なものだが、IoTを活用した高度なエネルギーマネジメント技術によりこれらを束ね、遠隔・統合制御することで、電力の需給バランス調整に活用することが出来る。

この仕組みは、需要電力を抑制する事または創エネする事により、あたかも一つの発電所のように機能することから「仮想発電所：VPP」と呼ばれている。

VPPは、負荷平準化や再生可能エネルギーの供給過剰の吸収、電力不足時の供給などの機能を有し、経済的な電力システムとして活躍することが期待されている。

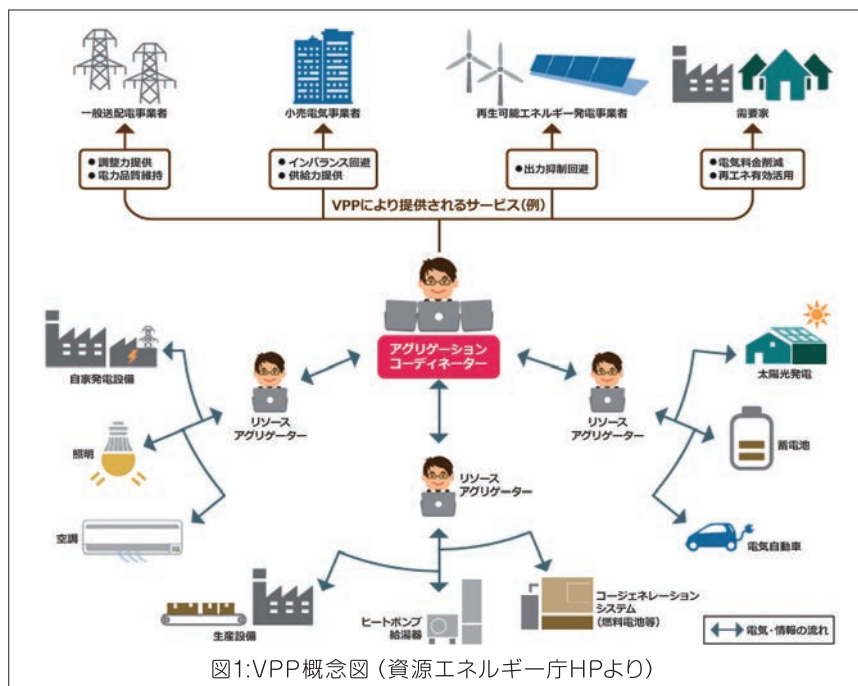


図1:VPP概念図（資源エネルギー庁HPより）

3. VPPの構成

VPPの手法としては、デマンドレスポンス※3(以下DR) による節エネと需要家側エネルギーリソース※4(以下DSR) による創エネがあげられる。

発電事業者からの要請に従い、アグリゲーター※5は需要抑制の依頼を受け、需要家側のDRを下げるよう

に指示する。需要家側の電力抑制量を受電ポイントで測定した結果をアグリゲーター側に送信し、電力抑制量をインセンティブとして需要家側に支払う。

現在、店舗型空調機的能力以上の空調機の場合、一部を除き、改造等を行い、圧縮機の回転制御による空

■《語句説明》■

- ※1 バーチャルパワープラント (VPP: Virtual Power Plant)
分散型エネルギーリソースを制御する事で発電所と同等の機能を提供すること。
- ※2 分散型エネルギーリソース
(DER: Distributed Energy Resources)
需要家側エネルギーリソースに加えて、系統に直接接続される発電設備、蓄電設備を総称するもの。
- ※3 デマンドレスポンス (DR: Demand Response)
需要家側エネルギーリソースを制御することで、電力需要パターンを変化させること。

- ※4 需要家側エネルギーリソース
(DSR: Demand Side Resources)
需要家の受電点に接続されているDER（発電設備、蓄電設備、受電設備）を総称するもの。
- ※5 アグリゲーター (Aggregator)
需要家側エネルギーリソースや分散型エネルギーリソースを統合制御し、VPPやDRからエネルギーサービスを提供する事業者のこと。
- ※6 ADR (Automated Demand Response)
自動デマンド制御。

調機出力のDR制御が可能となっている。

また、空調機を集中制御している場合、空調機の改造は不要であり、集中制御側でVPPからの信号を受け、重要性の低い部屋空調機を停止、あるいは設定温度を変える機能を付加する事が可能である。

他にも、太陽光発電や風力発電設備によるVPPの導入が可能であり、更に各種蓄電池や燃料電池の組合せのシステムを提案する事でVPPのインセンティブの効果がより期待できる。また、DSRとして、既存の遊休発電機がある場合の流用も1つの手段である。

今回の環境共創イニシアチブ（SII）のVPP実証事業では、事前に登録されたアグリケーションコーディネーターとリソースアグリゲーターのもと、需要側のデマンドを抑制制御する方針となった。

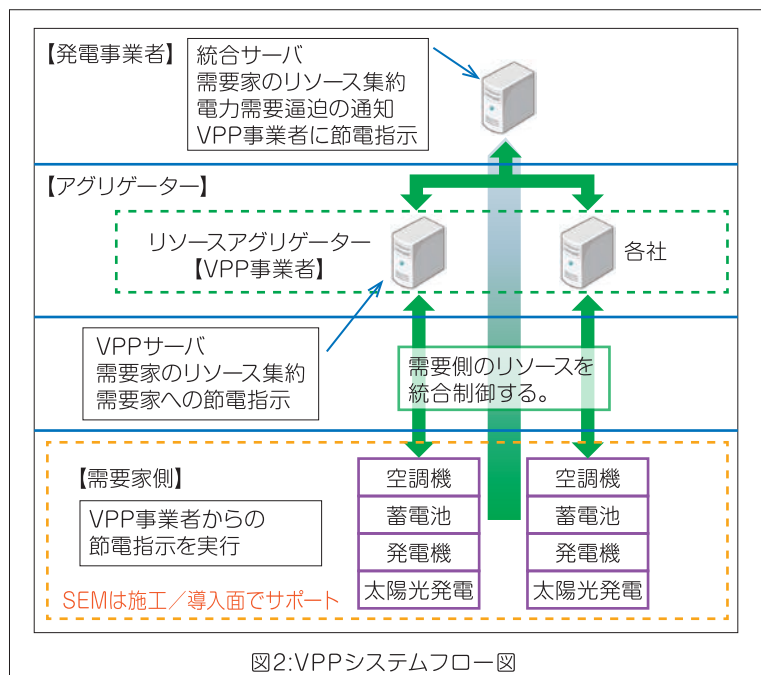


図2: VPPシステムフロー図

4. 当社の取り組み

2016年度（3件）・2017年度（2件）において、3つの事業部で行った実例を以下に記載する。

4.1. 既設空調機改造によるVPP実証実験例

東芝製の既設空調機に、デマンド制御用アダプタを追加して、リソースアグリゲーターのADR^{※6}サーバからの信号を受け、新設ADR制御盤（信号は内部の3GRルータによる受信）により空調機のデマンドを制御。

デマンドの状況をキュービクルの受電ポイントにて監視し、リソースアグリゲーターADRサーバに抑制電力量を返信する。

（但し、空調機改造の事前調査による室外機の親機と子機の確認が重要）

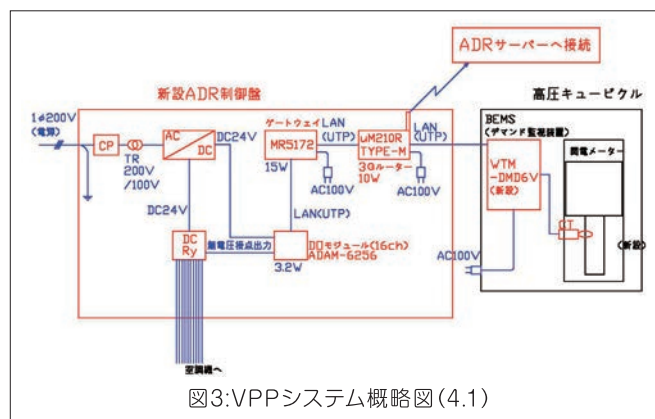


図3: VPPシステム概略図（4.1）

4.2. 既設空調機器（DR制御機能付き）へのVPP機能追加による実証実験例

ダイキン製の既設空調機は既にデマンド制御用アダプタにてデマンドコントロールを実施している。VPP機能を追加するためにADR制御盤を新設し、上位（アグリゲータ）からのデマンド制御信号を送り、空調機のデマンド制御を行う。

既設デマンド制御盤を流用するため、VPP機能追加による空調機の改造は不要であり、客先のコスト負担の軽減につながる。二次側配線が省略されるため工期の短縮にもなる。

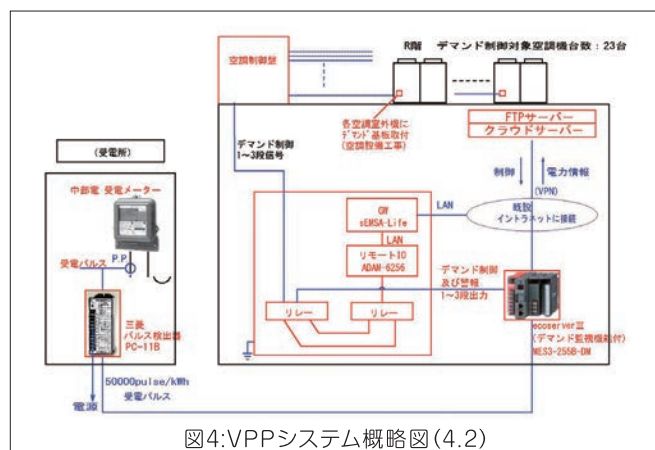


図4: VPPシステム概略図（4.2）

4.3. エリア別に3段階DRを行った既設空調機制御による実証実験例

ダイキン製の一部デマンド制御対象機種種の既設空調機とそれ以外の空調機にデマンド制御用アダプタを追加した上で、ADR制御盤を新設し、ADR制御盤により空調機のデマンド制御を行う。本件においてはエリア別に3段階のデマンド制御を行うシステムとした。

客先から部屋別に空調の優先順位を確認し、電力使用量の削減効果が高い空調機器を選別し最大の効果が得られるような制御システムを設計し

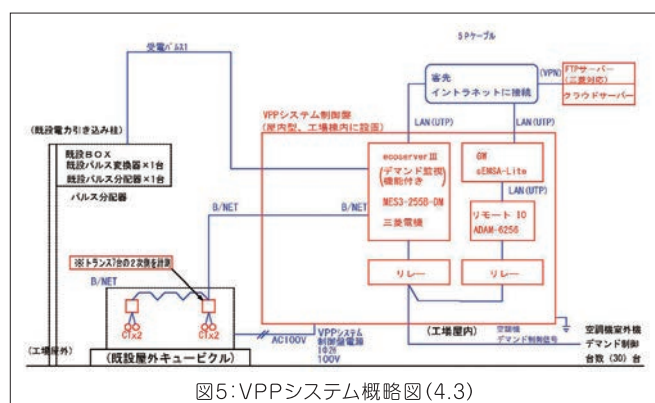


図5: VPPシステム概略図（4.3）

た。ADR制御盤に関しては将来対応を見越したリレーを設置し、将来のレイアウト変更の際に段階別制御も変更できるよう設計対応した。

下記の表1は電力デマンド制御の選定を行い、SIIへのデマンド削減予想量を申請した書類の1例である。

「既設空調機のDR制御の可否」「部屋別の使用目的による空調DR対象の客先要求」「空調DR制御の優先性」を入力することによりVPPによるDRの電力削減量の期待値がすぐに判定できる。

空調機器 デマンド制御表																															
デマンド制御室数小計				デマンド制御対象 空調機圧縮機容量計																デマンド制御対象 空調機対象台数											
デマンド制御の可				デマンド抑制値 下記項目を入力し 自動計算する																室外機設置位置											
16																				デマンド制御今回対象				デマンド制御今回対象外				小計			
23																				1F				1F				小計			
41																												16			
																												13			
																												8			
																												8			
																												11			
																												8			
																								23				64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			
																												64			



日本で一番短い地名「津」

日本ファシリオ株式会社大阪本店
植谷 信之



皆さん、クイズなどで「日本で一番短い名前の県庁所在地は？」と聞かれたことがあるかと思います。そうです、今回紹介させていただきます私のふるさは三重県の「津」です。

「津」駅は三重県庁(写真1)の最寄り駅で、JR東海紀勢本線、近鉄名古屋線、第三セクターの伊勢鉄道の総合駅です(写真2、3)。紀勢本線は非電化路線で、私が中学生の頃までSL牽引の旅客列車や貨物列車が走っていました。

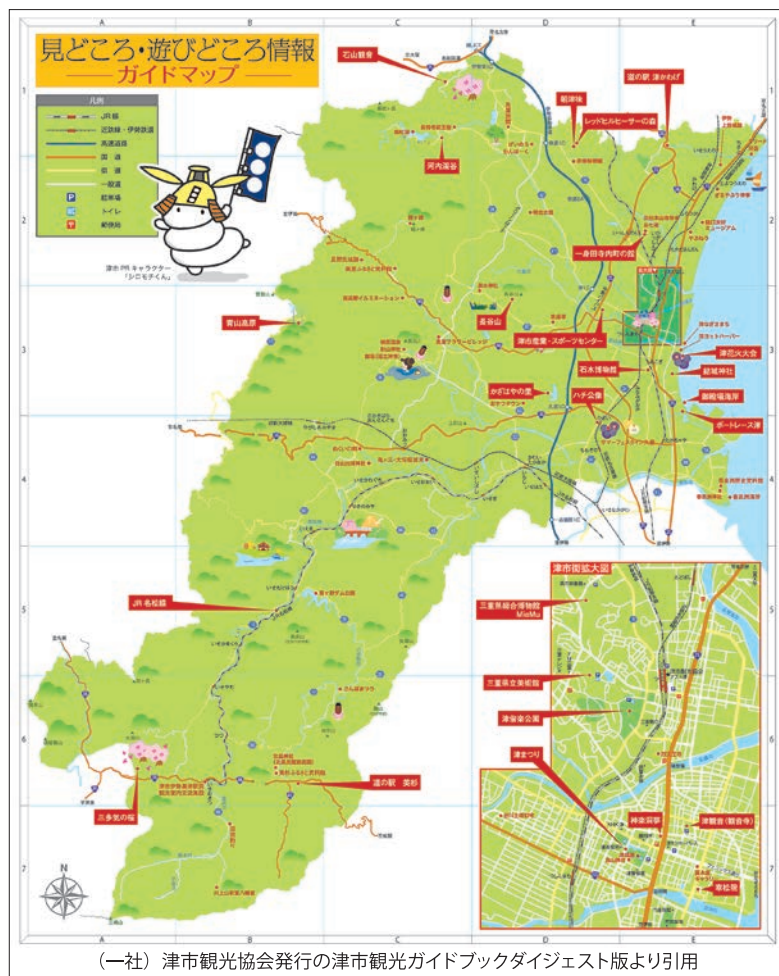
津市は、2006年1月1日に久居市、一志町、美杉村など

10市町村が合併して約27万人の市となっています。旧津市は、国道23号線沿いに発展してきました。市の中心部には戦国時代に織田信包(おだのぶなり)が築城し、1608年に入府した藤堂高虎(とうどうたかとら)の津城(写真4)があり、河川を利用した大きな堀と堅牢な石垣が特徴の城で、現在は本丸と西之丸、内堀の一部が残っています。

名工鋳物師「辻家」の屋敷があったといわれている私の生まれ育った町名も1995年住居表示の変更により「釜屋町(かなやまち)」から「北丸之内」になりました。(写真5)

2005年2月17日の中部国際空港セントレア開港に合わせて、海上アクセス「なぎさまちターミナル」(写真6)が同年2月に開業し、高速船により津～セントレア間を約45分で結びます。

2017年10月1日には、旧一志郡一志町(いしぐんいちしちょう)出身の「霊長類最強女子」こと、吉田沙保里さんにちなんで名付けられた大型屋内総合スポーツ施設「サオリーナ(SAORINA)」(写真7)が開業しました。



(一社) 津市観光協会発行の津市観光ガイドブックダイジェスト版より引用





4



5



青山高原
ウインドファーム
ホームページ



津市観光
ガイドブック



6



7



津市観光協会
ホームページ



8



9



10

近鉄特急「ひのとり」：近鉄ホームページより引用
(<https://www.kintetsu.co.jp/gyoumu/ticket/>)



津ぎょうざ協会
ホームページ

津市は伊勢湾に面して砂浜が広がっており、海水浴や潮干狩りができるスポットや津ヨットハーバーなどマリンスポーツも盛んです。同時に漁業も盛んで、春を告げる魚として知られる小女子(イカナゴ)漁は特に有名です。(写真8)

一身田町(いしんでんちょう)には、真宗高田派の本山寺院「専修寺(せんじゅじ)」があり、三重県下初の国宝建造物の御影堂(みえいどう)・如来堂(にょらいどう)をはじめ、多数の文化財を受け継いでいます(写真9)。

津市の西側に位置する旧久居市榊原町には、榊原温泉という清少納言ゆかりの名湯や、青山高原ウインドファームという最大出力95,000KW総数60基の風力発電施設があり、山並みに並ぶ風車の景観は壮大なものです。

通算で約30年暮らした津の街に対する私のイメージは、気候がおだやかで、海、山、川に囲まれながら、県庁をはじめとして三重県の産業、文化の中心であるという多

くの特徴をもった自慢ができる街であり、「ふるさと」としては最高だと思っています。

また、津グルメとして、鰻(うなぎ)と餃子(ぎょうざ)が有名です。文化圏的に関西圏に所属する津市では、ほとんどの鰻のお店が関西流で、旨みを逃さぬよう蒸さずに炭火で地焼きしたものです。津駅西口前の「大観亭(だいかんてい)」がおすすめです。

「津ぎょうざ」とは、直径15cmの大きな皮で具を包み、油で揚げてある大きな揚げ餃子です。市町村合併前の津市の教育委員会の栄養士がレシピを考案し、1985年ごろから現在においても学校給食で提供され、子供たちに大人気の一品です。

皆さん、三重県にお越しの際は、一度「津」の歴史やグルメに触れてみてはいかがでしょうか。大阪から近鉄特急「ひのとり」(写真10)で約1時間20分、日帰り旅行にはちょうどいい距離だと思います。



皆さんは、南海なんば駅に隣接する「なんばパークス」の誕生物語をご存知でしょうか？

なんばパークスは、大阪球場の跡地に「未来都市なになわ新都」をコンセプトに再開発された複合商業施設で、2003年10月に第1期が開業し、第2期は2007年4月に開業しました。私は今の職に就く前は、大阪スタジアム興業

株式会社(大阪球場の所有・管理運営、その後大阪球場が撤去される前に南海電鉄に吸収合併)に勤めており、大阪球場の解体準備から、なんばパークス第1期開業までの開発、運営に関する仕事にずっと携わっておりました。せっかくいただいた機会ですので、私自身思い入れの深い大阪球場となんばパークスの話を昔の仕事を思い出しながらご紹介させていただきます。

大阪球場

大阪球場は、1950年に開場して以来、プロ野球南海ホークスのホームグラウンドとして長年親しまれてきました。スタンド階下のスペースは、球場外の敷地部分と併せた複合娯楽施設として有効活用され、球場内に卓球場や文化会館(土井勝さんの料理教室が有名)、古書街(14店舗)などがあり、球場裏手の南側には、アイススケート場、ローラースケート場(平日は体操教室)、ボウリング場、プール、場外馬券発売所(WINS難波)などの施設がありました。

1988年に南海ホークスがダイエーに譲渡されてから、2年間は近鉄バファローズの準拠地として使用されていましたが、1990年に野球場としての役割を終えました。その後、グラウンド外野部分には住宅展示場(宮部みゆきの代表作の一つ「火車」の謎解きのポイントにもなっています)が、内野部分には劇団四季の特設「キャットドーム」が、また球場外の敷地入り口付近には大阪初のハードロックカフェが建てられ、次の開発まで賑わいをなんとか維持させようとしていました。



なんばパークス周辺マップ (なんばパークスホームページより引用)



①1945年 球場建築前

戦後間もなく米軍機に同乗した毎日新聞社員が、難波上空から御堂筋を北に見て、焼土と化した大阪ミナミの繁華街を撮影した記録写真。手前から日本皮革(株)工場、専売局工場の焼け跡(大阪球場敷地)、難波駅、南海ビル(高島屋)、精華小学校、旧歌舞伎座、旧大劇、松竹座、大丸、そごう、左手に四ツ橋旧電気科学館、あとは一面の焼け野原。

②1957年 大阪球場

東外野スタンド改築前、後方左にスケートリンク、右に日本皮革(株)工場、中央に場外馬券発売所

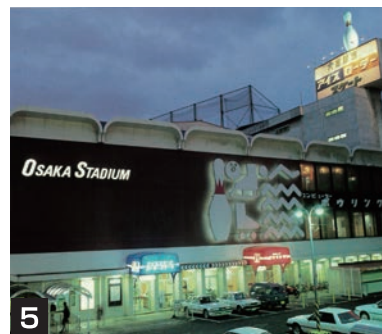
③1988年 大阪球場周辺

後方中央はニッピゴルフ練習場(工場跡、現ヤマダ電機等) 南海サウスタワーホテル(現スイスホテル南海大阪)の建築が始まっている。

④1990年 大阪球場

⑤遊技場(ボウリング場、アイススケート場等入口)

引用：①～⑤は大阪スタジアム興業(株)社史より



⑥なんばパークス全体
引用：ウキベディアより

⑦なんば光旅
(イルミネーション)
引用：なんばパークス
公式ツイッターより

なんばパークス

なんばパークスは、キャナルシティ博多や六本木ヒルズを手がけた建築家ジョン・ジャーディ氏が設計。施設の基準階となる2階の南北を貫くメイン通路にあえて屋根をつけず、その両側の壁面を地層に模して大渓谷に似せた「キャニオンストリート」と各階に段丘状に造られた屋上庭園「パークスガーデン」が、なんばパークスの外観上の特徴となっています。また、これらの造形を活かして夜間のイルミネーションにも力を入れており、冬には「なんば光旅(ひかりたび)」として毎年少しずつパワーアップしながら開催されています。



こでちやつて
裏話

開業が2期に分かれた理由

外野席スタンド下を含め南側にテナントとしてWINSがあったのですが、近隣に一時的に移転をして頂くにも公営ギャンブル施設として地元との調整が難しいため、WINS部分だけは取り壊さずに営業しながら、他の北側部分を先に解体、建築し、そこに新しいWINSを作って移転する必要がありました。WINSはこの施設の重要な収益源である一方、お洒落な街づくりを目指しているパークスにとって、客層として当時あまりよろしくない風貌の方がメインであるイメージが強かったので、実際WINSが施設内に計画されているということで、オフィスや商業施設の出店交渉が困難になる場面もありました。その点を十分考慮して、WINSの客導線を1階から地下に、その他商業施設としての導線は2階から上を基準レベルとして念入りに計画しました。それでも開業してみるまでは不安だったのですが、この導線計画が良かったのか、WINSのお客様がお洒落になったのか、結果は思惑以上にWINSの存在がいい意味で目立たない施設となりました。JRAさんからは目立たな過ぎて、もっとサインを大きく出してくれとか苦情が出ましたが…。

謎施設パークスムーン

なんばパークス中央のシースルーエレベータの上に異様に目立つ巨大なパラボラアンテナのようなものがあるのですが、これは「パークスムーン」という半球面映像施設です。下の噴水等と併せての演出施設で、エレベーターの機械室を隠す意味もあったようですが、結構な費用をかけていたので、全体事業予算の管理担当をしていた私には本当にこんな施設があるのか疑問に感じていました。北米照明学会賞とかいう賞をとったらしいのですが、実際は映像を流したりする活躍はほとんどしていないので残念な施設だと今でも思っています。

記念プレート

大阪球場の記念をどこかに残そうということで、キャニオンストリートの北側入り口付近にピッチャープレートとホームベースの記念プレートが埋め込まれています。実

際あった位置にそのまま設置されていますと言いたいところですが、本当は大人の事情で仕方なく少しだけずらしています。これは関係者以外極秘事項とされていたはずですが、なぜかWikipediaに載っており、誰が漏らしたのか今では公然の事実となっているようです。



おもてなしマニュアル

私の携わった仕事の一つとして、警備員、清掃員、設備管理業者などに対して、主に来場するお客様に対する「おもてなしマニュアル」というものを作成し、教育を行っていました。これはディズニーランドの清掃員などの行動基準を目指して真似たもので、今でもそれが活かされているかどうかは不明ですが、当初はそういう意気込みで施設運営を行っていました。

その後のなんば駅周辺開発

私はなんばパークス第1期開業後2004年12月に今の会社に転職しました。その後、かつて南海電鉄本社があり私の長年の勤務先であった南海会館ビルは、本社ビルを浪速区に新築・移転し、旧社屋は2018年に「なんばスカイオ」として生まれ変わりました。これで南海なんば駅周辺は「高島屋」「なんばCITY」「なんばPARKS」と併せて大阪ミナミの南端を飾る素晴らしい街となりました。また現在、なんばパークスの南隣にあるヤマダ電機東側の株式会社ニッポの土地には、ホテルを中心とした施設の建築が進められており、さらに賑わいが増そうとしています。昨年11月、広報委員会主催の現場見学会はこの建設現場で開催されました。

私の思い出「なんばパークス」は、とても美しくてユニークな一日中楽しめる施設になっています。皆さん是非一度訪ねてみてください。

理事会だより

第559回理事会

日 時 2022年9月20日（火）14:00～
場 所 マイドームおおさか 8F 第1・第2会議室
(大阪市中央区本町橋2-5)

第1号議案 各委員会事業等報告

【総務委員会】

1. 大阪府建設業暴力追放推進大会の開催報告
2. 第42回地区協議員、諮問委員合同会議（11/22）
3. 「優秀建設施工者」大阪府知事表彰候補者の推薦
4. 永年勤続者表彰対象者の申請
5. 2023年賀詞交歓会（1/17）
6. 会員情報管理システムの構築・運用費用

【経営委員会】

1. 大阪電業協会新規入会会員
2. 第50回電気工事士技能競技大会
(一般の部・高校生の部)
3. 官庁懇談会の計画
4. 大阪府下衛星都市への分離発注陳情
5. 青年部会活動報告について
(1) 発足50周年記念式典・祝賀会（10/18）
(2) デイキャンプ活動：和泉ブロック（11/5）
(3) レクリエーション活動（11/19）
(4) 年末反省会（11/29）
(5) 日本赤十字社 大阪府支部 寄付金贈呈（12/13）
(6) 清掃活動

【技術・技能委員会】

1. 第50回電気工事士技能競技大会（10/27）
2. 第50回電気工事士技能競技大会見学者、前日準備作業、後片付け作業
(1) 見学者
(2) 前日準備作業および当日後片付け作業
(3) 申込締切

【労務・安全委員会】

1. 今年度安全大会（6/30）開催結果に対する検討
2. 2022年度 登録電気工事基幹技能者 認定講習会（10/29～10/30）
3. 2022年度 職長教育（11/16～11/17）
4. 2022年度 実技講習会の開催計画（11/24～25、12/26～27、1/10～11）
5. 「年次有給休暇取得に関するアンケート」調査

【広報委員会】

1. 会報（秋季号）の発行（2022年9月末発行予定）
2. 電気工事士技能競技大会（一般の部・高校生の部）
3. 電気工学系大学生現場見学会開催
4. 協会ホームページ「採用募集ページ」の掲載申込み状況
5. 大阪府より疑似しごと体験動画制作の協力依頼
6. 協会ホームページ、メルマガの保守契約

【中小部会】

1. 人材育成事業
(1) 1級電気施工管理技士資格取得 集中講習
(2) 中小部会独自の安全教育
(3) 退職者を減らす退職者防止策
2. 経営力強化事業
(1) 社内業務の効率化
・第2回積算基礎講習会
・女性活躍支援事業
・業務IT化による効率化
(2) 第5回労働安全衛生法ミニ勉強会

【資材部会】

1. 会員企業見学会（11/4）
2. JECA FAIR 2023 ～電設工業展～（5/24～5/26）
3. 第50回電気工事士技能競技大会（10/27）

【人材部会】

1. 大阪府内工業系高校（17校）への会員企業紹介訪問結果
2. 大阪府内工業系高校（17校）教諭との意見交換会の計画
3. 大学電気系学科教授との意見交換会の計画
4. 電気設備工事業界研究セミナーの計画（1/28）

第2号議案 令和5年会員大会関連事項報告の件

今年度の会員大会懇親会時大会旗の伝達式には、関西支部から関西支部長、大阪電業協会副会長、京都、滋賀、兵庫、奈良、和歌山各電業協会会長の9名が登壇

■各委員会準備状況

【総務委員会】

【労務・安全委員会】

【経営委員会】

第3号議案 その他

前田会長より日本電設工業協会理事会資料（外国人受入れ）の説明

事務局より報告

技能競技大会特別企画（展示コーナー設置）

第560回理事会

日 時 2022年11月22日（火）14:00～
場 所 シティプラザ大阪 4F 「眺の間」
(大阪市中央区本町橋2-31)

第1号議案 各委員会事業報告

【総務委員会】

1. 2023年賀詞交歓会の開催（1/17）
2. 永年勤続者表彰「被表彰者」の選定と表彰式の開催（1/17）
3. 電気設備工事スキルアップ助成金交付申請
4. 「優秀建設施工者」大阪府知事表彰候補者の推薦
5. 令和5年度電気保安功労者表彰候補者の推薦
6. 2023年度年間行事予定（案）
7. 令和5年会員大会（総務委員会担当）

【経営委員会】

1. 2022年度官庁懇談会
2. 大阪府下衛星都市への分離発注陳情
3. 青年部会活動報告
(1) 事業報告
1) 発足50周年記念式典・祝賀会開催結果
2) デイキャンプ活動結果
3) レクリエーション活動結果
(2) 事業予定
1) 年末反省会
2) 日本赤十字社 大阪府支部 寄付金贈呈式
3) スポーツ大会
4) 清掃活動

【技術・技能委員会】

1. 第50回電気工事士技能競技大会開催結果

【労務・安全委員会】

1. 2022年度 登録電気工事基幹技能者 認定講習会開催結果
2. 2022年度 職長教育開催結果
3. 2022年度「雇用管理研修会」（厚生労働省外部委託事業）
4. 2022年度 実技講習会の開催計画
5. 「年次有給休暇取得に関するアンケート」調査

【広報委員会】

1. 電気工学系大学生現場見学会開催結果
2. 会報春季号（2023.3月号）

【中小部会】

1. 人材育成事業
 - (1) 1級電気施工管理技士資格取得 集中講習
・二次試験対策講習会
 - (2) 中小部会独自の安全教育
 - (3) 退職者を減らす退職者防止策
2. 経営力強化事業
 - (1) 国の政策講習（助成金の改定）
 - (2) 社内業務の効率化
・第2回積算基礎講習会
・業務IT化による効率化
3. その他
・令和5年10月12日会員大会での基調報告

【人材部会】

1. 大阪府内工業系高校（17校）教諭との意見交換会の計画
2. 大学電気系学科教授との意見交換会の計画
3. 大学生・専門学校生等対象電気設備工事業界研究セミナー

第2号議案 事務局職員の賞与支給の件について

第3号議案 その他

2023年度 大阪電業協会 事業・委員会日程に関し、変更箇所の追加説明

事務局より報告

在阪建築15団体合同新年交礼会の開催決定

第561回理事会

日 時 2023年2月13日（月）14:00～
場 所 マイドームおおさか 8F 第1・第2会議室
（大阪市中央区本町橋2-5）

第1号議案 各委員会事業報告

【総務委員会】

1. 2023年賀詞交歓会の開催結果
2. 電気設備工事スキルアップ助成金交付申請
3. 「優秀建設施工者」大阪府知事表彰者の決定（2/9）
4. 令和5年度電気保安功労者表彰候補者の推薦
5. 2023年度建設マスター、ジュニアマスター候補者の推薦
6. 令和5年会員大会（会員大会担当）進捗状況

【経営委員会】

1. 2022年度官庁懇談会開催状況
2. 大阪府下衛星都市への分離発注陳情結果
3. 青年部会活動報告
 - (1) 事業報告
 - 1) 年末反省会
 - 2) 日本赤十字社 大阪府支部 寄付金贈呈式（12/13）
 - 3) スポーツ大会
 - (2) 事業予定
 - 1) 大阪府内児童養護施設への図書券寄付（3/15）
 - 2) 2023年度 年次総会（5/12）
 - 3) 50周年記念誌
 - (3) その他
 - 1) 清掃活動
 - 2) 青年部会会員入会・運営委員新規加入
4. 令和5年会員大会（総括運営担当）進捗状況
・来賓候補の選定作業終了、募集人数の設定について検討中
・会員大会の各準備状況を確認するため3月初旬実行委員会を招集予定

【技術・技能委員会】

1. 第50回電気工事士技能競技大会開催後の取り組み状況
2. 第28回積算技術講習会、第28回積算競技大会

3. 令和5年会員大会（オプション企画担当）進捗状況

【労務・安全委員会】

1. 2023年度新入社員研修会（4/5～6）
2. 第51回安全大会（6/30）
3. 登録電気工事基幹技能者認定講習（結果）
4. 2022年度 実技講習会の開催結果
5. 「年次有給休暇取得に関するアンケート」調査結果
6. 令和5年会員大会（懇親会担当）進捗状況

【広報委員会】

1. 会報春季号（2023.3月号）
2. 令和5年会員大会（広報担当）進捗状況

【中小部会】

1. 2022年度事業計画進捗状況
 - (1) 人材育成事業
 - 1) 1級電気施工管理技士資格取得 集中講習結果
 - 2) 中小部会独自の安全教育
 - 3) 退職者を減らす退職者防止策
 - (2) 経営力強化事業
 - 1) 国の政策講習（助成金の改定）
 - 2) 社内業務の効率化
2. 中期目標（2022年度～2024年度）に基づく2023年度事業計画(案)
 - (1) 人材育成事業
 - 1) 1級電気工事施工管理技士資格取得 集中講習（継続）
 - 2) 中小部会独自の安全教育
 - 3) 退職者を減らす退職者防止策
 - (2) 経営力強化事業
 - 1) 国の政策講習（働き方改革等）
 - 2) 社内業務の効率化
 - (3) 新たな成長への関係創り
 - 1) 6月～8月中小会員企業・部課長クラス企業間情報交換（継続）
3. その他
・令和5年10月会員大会、基調報告
・非会員企業への訪問、大阪電業協会及び中小部会事業説明（入会勧奨）

【資材部会】

1. JECA FAIR 2023 第71回電設工業展

【人材部会】

1. 大阪府内工業系高校教諭との意見交換会の再計画（2/21）
2. 大学電気系学科教授との意見交換会の実施結果（12/7）
3. 大学生・専門学校生等対象電気設備工事業界研究セミナー開催結果（1/28）

第2号議案 専門委員任命の件

総務委員会専門委員

辞任：住友電設㈱ 河西慎也専門委員→
後任：住友電設㈱ 川部真太郎氏

技術・技能委員会専門委員

辞任：ダイダン㈱ 大阪本社 寺田正一専門委員→
後任：ダイダン㈱ 大阪本社 仁井屋田浩氏
辞任：住友電設㈱ 國松透専門委員→
後任：住友電設㈱ 居安正智氏
辞任：三和電気土木工事㈱ 河淵敦専門委員→
後任：三和電気土木工事㈱ 渡辺洋一氏

第3号議案 その他

2023年度 大阪電業協会 事業・委員会日程に関し、変更箇所の追加説明

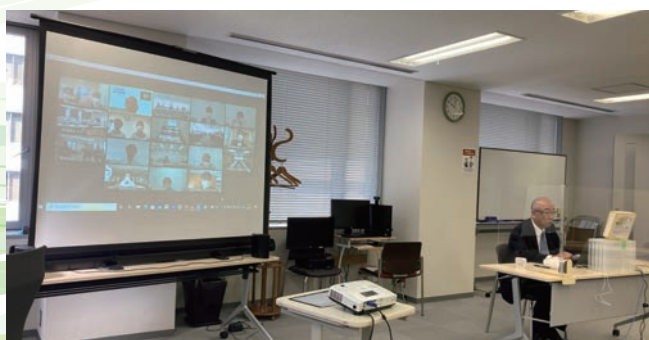
事務局より報告

前回理事会以降の行政通達から抜粋、詳細説明

(一社) 大阪電業協会
2023年度上半期の主な行事予定

2023

1 January SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 1 2 3 4	2 February SUN MON TUE WED THU FRI SAT 29 30 31 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 1 2 3 4	3 March SUN MON TUE WED THU FRI SAT 26 27 28 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 1	4 April SUN MON TUE WED THU FRI SAT 26 27 28 29 30 31 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 1 2 3 4 5 6
5 May SUN MON TUE WED THU FRI SAT 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 1 2 3	6 June SUN MON TUE WED THU FRI SAT 28 29 30 31 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 1	7 July SUN MON TUE WED THU FRI SAT 25 26 27 28 29 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 1 2 3 4 5	8 August SUN MON TUE WED THU FRI SAT 30 31 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 1 2
9 September SUN MON TUE WED THU FRI SAT 27 28 29 30 31 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	10 October SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 1 2 3 4	11 November SUN MON TUE WED THU FRI SAT 29 30 31 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 1 2	12 December SUN MON TUE WED THU FRI SAT 26 27 28 29 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 1 2 3 4 5 6



昨年の新入社員研修の様子（初めてのZoom開催）



昨年の通常総会の様子

行 事	日 程	場 所
◇新 入 社 員 研 修	4月5日(水)～6日(木)	エルおおさか
◇第28回積算技術講習会	4月19日(水)	エルおおさか
◇令和5年度青年部会年次総会	5月12日(金)	場所未定
◇第28回積算競技大会	5月17日(水)	エルおおさか
◇第70回通常総会	6月13日(火)	ホテル阪急インターナショナル
◇第51回安全大会	6月30日(金)	建設交流館

会 員 往 来

2022年秋季号発刊以降に連絡をいただいた会員企業の往来情報

新規入会

《入会日》	《社名》	《代表者名》	《所在地》
2022年10月1日	双葉電気㈱	竹内 康彦	〒530-0035 大阪市北区同心1丁目2番24号 TEL.06-6358-6731 FAX.06-6358-5930

事業所移転

《社 名》	《事業開始日》	《移転先》
三機工業㈱ 関西支社	2022年11月7日	〒541-0041 大阪市中央区北浜3丁目5番29号 日本生命淀屋橋ビル20F TEL.06-7176-7630 FAX.06-6232-3060

代表者の変更

《変更日》	《社名》	《新代表者》
2022年10月1日	相和電気工業㈱	佐茂 弘樹
2022年11月30日	合同電設㈱	金子 宗二

新しい仲間をご紹介します



双葉電気株式会社
代表取締役 竹内康彦



双葉電気株式会社



ホームページ

- ◆本社所在地 大阪市北区同心1丁目2番24号
- ◆設 立 1962年10月
- ◆事業内容 仮設電気工事
- ◆代表者 竹内康彦
- ◆資本金 1,200万円
- ◆社員数 30名

《会社紹介》

当社は1962（昭和37）年から仮設電気工事をメインとした電気工事会社です。2017（平成29）年にオーナー企業からグループ会社へと変化し、新卒社員を積極的に採用し、若い人財が活躍できる環境を整えており、これからも成長し続ける会社です。経営理念は『創造・飛躍・誠意』を柱にプロ集団としての自覚をもって技術革新にチャレンジし、電気工事を通じて社会整備の一翼を担います。全社員が同じ思いを共有して日々成長するように取組んでおります。

貴社の強味、社員に求めること

土木現場、建築現場を問わず、数多くの大型現場で仮設電気工事を施工させていただいております。現場には必ず仮設電気が必要であり、顧客ニーズに応えていける会社であり続ける為に技術革新に社員全員でチャレンジしております。

社員には、言われた事や与えられた仕事をするだけでなく、自分で考え『〇〇しようと思っていますが大丈夫ですか？』と言えるヒトになって欲しいと思っています。



貴社が目指すところ、大阪電業協会に求めること

当社は仮設電気工事の専門業者として「仮設電気工事＝双葉電気」と言われる会社を目指しております。まずは関西No.1の仮設電気会社を目指します。

求人活動で工科高校を訪問すると、大阪電業協会に入会されておられますか？と質問される事が多くありましたので、今後も協会には採用活動のご支援をお願いしたいと思っています。



知ったク! 情報

国や地方自治体が発信している情報を、
どれだけご存知ですか？



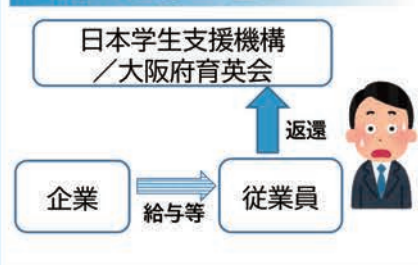
／ 人材確保・定着に！ ／

企業の奨学金返還支援（代理返還）制度

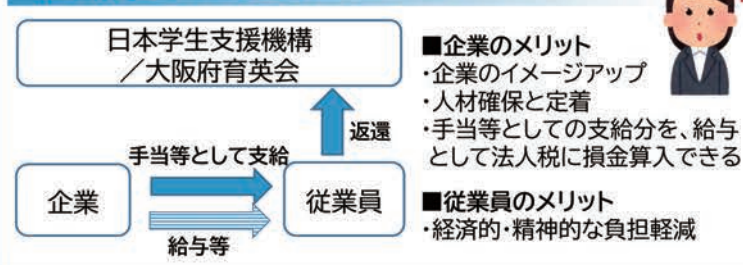
企業のみなさん、従業員を応援する本制度の活用をご検討ください！

奨学金制度とは、経済的理由により進学をあきらめることなく、自らの能力や適性等にあった進路を自由に選択できるように支援していく制度で、国（日本学生支援機構）のほか、大阪府育英会などが実施しています。原則返還が不要な給付型と卒業後返還する貸与型があり、大学生の49.6%（※）が何らかの奨学金を受給しています。
※大学・昼間部の場合（日本学生支援機構「令和2年度 学生生活調査」）

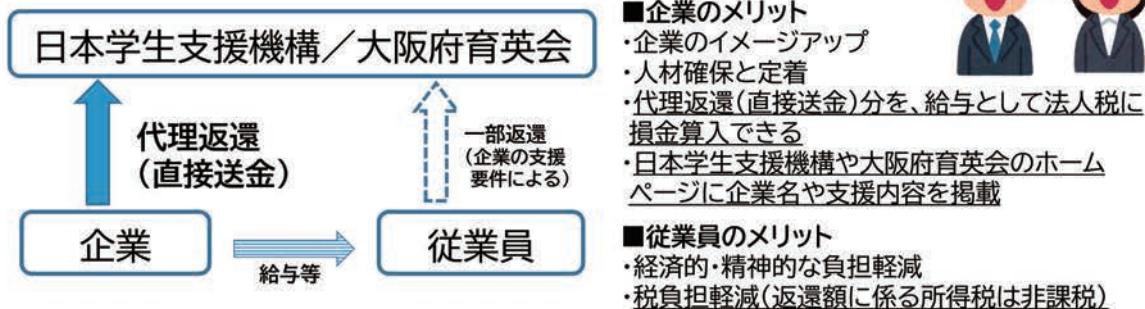
通常の奨学金返還



企業の奨学金返還支援（従業員に手当等として支給）



企業の奨学金返還支援（代理返還）制度



企業の代理返還制度は、日本学生支援機構が令和3年4月から、大阪府育英会が令和4年7月から実施しています。詳しくは各団体のホームページでご確認いただくか、直接お問い合わせください。

独立行政法人日本学生支援機構
奨学事業戦略部 奨学事業総務課 総務係
電話 03-6743-6029



<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kigyoshien/index.html>

公益財団法人大阪府育英会
返還収納課
電話 06-6357-6273



<https://www.fu-ikuei.or.jp/dairihenkan/>

奨学金返還支援に取り組む企業をPRします！

奨学金返還支援制度を導入している企業が、大阪府主催の合同企業説明会に出展される場合は、当日パンフレットに企業情報を掲載するなど、求職者にPRします。

大阪府企業の奨学金返還



【発行元】大阪府 商工労働部 雇用推進室
就業促進課 企業支援グループ
TEL : 06-6360-9074
FAX : 06-6360-9079

国や地方自治体が発信している情報を、
どれだけご存知ですか？

大阪府 OSAKAしごとフィールド 初のオリジナルショートドラマ!!



時間が戻るたび、仕事が変わる？前代未聞の異業種体験、始まる。



将来に不安を抱えている
会社員

筒井 翔



タイムリープを繰り返している
転職活動中の女性

大林 まもり

あらすじ

仕事にやりがいを感じられず、将来に漠然とした不安を抱えながら毎日を過ごしている筒井翔（つついかける）。そんなある日、突如として翔は4年前の就職活動時期にタイムリープする。戸惑いつつも、これは人生をやり直すきっかけと考えた翔は、**OSAKAしごとフィールド**（大阪府の総合就業支援拠点）で就職活動をし、元々勤めていた企業とは異なる企業に入社する。一通り仕事にも慣れ、やりがいを感じていた翔であったが、ある朝、目が覚めると再び就職活動時期に時が巻き戻っていた。困惑する翔の前に、翔と同じくタイムリープをしていた大林まもり（おおばやしまもり）が現れる。2人はタイムリープした理由を知るために動き出す。

キャスト & スタッフ

<出演者>

筒井 翔・・・足立 祥太郎
大林 まもり・・・浜部 真帆
撮影協力企業のみなさま

<スタッフ>

メインストーリー脚本・・・永井 茜
各話職業体験パート脚本・・・撮影協力企業のみなさま
OSAKAしごとフィールドスタッフ

撮影・編集・・・株式会社Shin-Ka

<制作著作>

OSAKAしごとフィールド（大阪府）



動画の視聴はこちらから

OSAKAしごとフィールドの公式WEBサイトより
お申込みのうえ、お手持ちの端末でご視聴ください。

2022年8月より順次配信!! 全10話の配信となります。

※視聴にはOSAKAしごとフィールドへの登録が必要です。





大阪府

OSAKAしごとフィールド

中小企業人材支援センター



ご利用無料



スマホでも受診可能

採用活動の
効率化

自社に合った
人材採用

早期離職の
防止

人材確保のお役立ちツール

採用・定着 のミカタ

- ☒ 採用力診断ツール
- ☒ 選考支援ツール
- ☒ 定着支援ツール

「採用・定着のミカタ」とは、採用力を可視化できる「採用力診断ツール」、応募者の特性を可視化できる「選考支援ツール」、社員の特性を可視化できる「定着支援ツール」の総称です。

反響続々!!

成功実感企業は利用している! 自社の

応募者を深く理解でき、
自社にマッチする人を探すのに役立った。
(T社・製造業)

採用選考や人員配置の
判断材料になりました。
(S社・建設業)

指摘された弱みに取り組むことで、
採用に繋がったと思う。
(N社・建設業)

力を入れるべきところに
気付くことができました。
(N社・技術サービス業)

特性まる分かり

スマホ・PCから簡単受診!

ご利用はコチラから



しごとフィールド 採用・定着のミカタ

<https://3kobuta.com/mikata/>



お問合せ

OSAKAしごとフィールド中小企業人材支援センター TEL.06-6910-3765

3つのツールでできること



採用力診断ツール

現在の採用力を可視化できる

- 「計画」「募集」「選考」「定着」のプロセスごとに自己採点。

【各プロセスの診断項目】

計画	採用計画	雇用形態	人物像定義	人材多様性	協力体制
募集	自社の魅力把握	自社の魅力発信	求人媒体の活用	イベントの活用	職場環境
選考	選考プロセスの実行	選考基準	面接スキル（意きつけ）	面接スキル（見極め）	内定者フォロー
定着	職場の雰囲気	研修制度	人事制度	働き方改革	多様な働き方

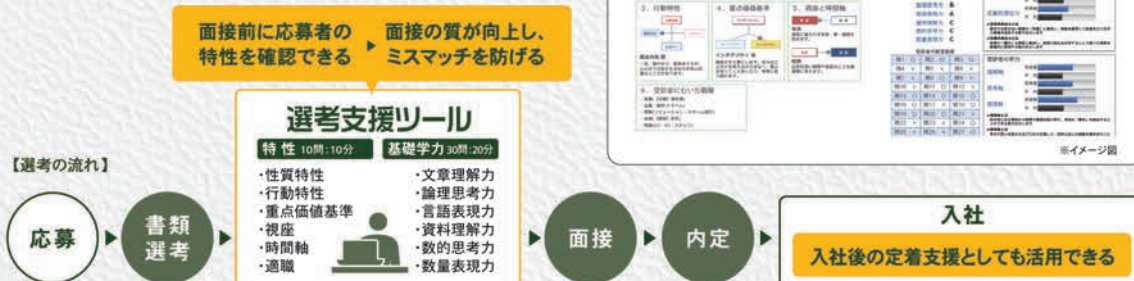
- 数値やレーダーチャートで可視化。
- 「同じ従業員規模の企業」「同業他社」「採用成功企業」の平均値と比較できる。



選考支援ツール

応募者の特性を可視化できる

- 「特性」と「基礎学力」の2つの視点で可視化。



定着支援ツール

社員の特性を可視化できる

- 「選考支援ツール」と同じ診断で社員の特性を客観的に可視化。

★離職防止に活かせる3つのポイント

入社後の配属	新入社員の育成	上司・部下の関係
適性のある職種が表示されるので、配属時の参考になる。（貴社にない職種が出る場合がありますが、ご了承ください）	特性が分かることで、新入社員を育成する際のコミュニケーションの参考になる。	上司が部下の特性を理解することで、コミュニケーションの取り方等の参考になる。

お問合せ

OSAKAしごとフィールド 中小企業人材支援センター
TEL：06-6910-3765 大阪市中央区北浜東3-14 エル・おおさか 本館3F
【平日】9:30～18:30（17:30受付終了）
MAIL：kigyuu@shigotofield.jp/ FAX：06-6910-3781

しごとフィールド 中小企業 Q
https://business.shigotofield.jp

※このチラシは厚生労働省「地域活性化雇用創造プロジェクト」で作成しました。



DXが設備業の働き方を変える！



一般社団法人 一設備業の働き方をデジタルで改革— 全国設備業DX推進会

＜一般社団法人全国設備業DX推進会とは＞

設備業界に対してDXに関する提案を行っている企業が集い、全国レベルのDX推進を目的とする組織を共同で設立しました。組合経由で設備業の方々へDXの啓発活動を行うことを目的とし、様々なセミナーの開催、及びご提案、サービスをご用意しています。より一層拡充したサービスをご提供し、設備業界の方々を支援していきます。最新のトレンドに合わせたセミナーや業務改善のためのセミナーなど多数ご用意しています。ご要望に合わせてビジネスマナーセミナーや経営革新セミナーも提供可能です。お気軽にご相談下さい。

おすすめセミナーや、
最新のイベント情報は、こちら



<http://www.setsubi-it.jp/>



IT導入補助金2023 ご相談受付中

自社の課題やニーズに合ったシステムを導入することで経費の一部が補助される制度です。
システム導入に補助金を活用して、生産性向上・業務効率UPを目指しませんか。

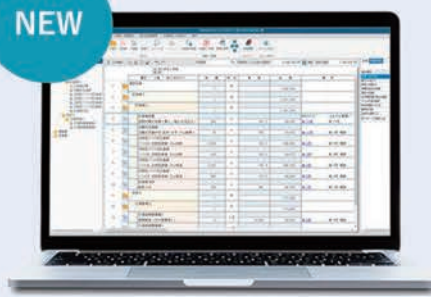
公共工事積算システム



電気土木工事に関わる「歩掛」・「単価」データをご用意！
Excel、PDF、画像データの設計書の取込が可能！



NEW



施工計画書作成支援システム

デキスパート® 施工計画書作成支援システム

PC 稼働台数無制限を実現！
エクセル操作で施工計画書作成！
電子黒板・電子納品に対応！



建築設備積算システム



拾いシステム
拾い名人
設計内訳書PDF
取込システム
取込名人

民間工事と公共工事の両方に対応！
設計内訳書PDF取込、拾いシステムと連携！

— 会員様それぞれのニーズにあわせた、システムをご提案致します —

CAD・見積積算・原価管理・写真管理システム等、お気軽にご相談下さい！

お問い合わせはこちら TEL: 06.6396.5748 担当：門屋（カドヤ）



一般社団法人 一設備業の働き方をデジタルで改革—
全国設備業DX推進会 関西分科会

〒532-0003 大阪市淀川区宮原2丁目14-14 新大阪グランドビル10階
TEL: 06.6396.5748 株式会社 システムズナカシマ 事務所内
システムズナカシマは、全国設備業DX推進会の事務局です

会員諸変更届

(西暦) 年 月 日

一般社団法人 大阪電業協会 御中

会員名 _____

〔1. 会員名 2. 代表者 3. 協会連絡担当者 4. 住所 5. 電話番号 6. FAX番号〕が
下記の通り変更になりましたのでお届けします。
(変更箇所を○で囲んでください。)

旧	
新	
変更年月日	
備考	

※代表者・連絡担当者の役職もお書きください。
※代表者・連絡担当者にふりがなをつけてください。

(一社)大阪電業協会 TEL 06-6363-4077
FAX 06-6363-4079

※この用紙をコピーしてご使用ください。

キ
リ
ト
リ
線

会報リニューアル第3回目の発刊となりました。写真やイラストを多く用いて視覚に訴える会報となっており、読み手側からも興味を持っていただけるような会報になっているのではないのでしょうか。また、会員の皆様が興味を持っておられると思われる記事も掲載していますので一読いただければと思います。

今回は、2つの50周年行事を特集として組ませていただきました。青年部会発足50周年記念式典と第50回電気工事士技能競技大会です。

青年部会の記念式典では、50年を振り返る記念映像の上映や役員5名による討論会、その後の懇親会ではイリュージョンショーで盛り上がったようです。私も過去に青年部運営委員に在籍していたこともあり、活発な活動がなされていることは大変うれしく思います。

電気工事士技能競技大会は第50回という記念大会ということで、一般の部は新しい試みとしてボード2面を使用して2名による共同作業、高校生の部も3年ぶりに開催とこちらもコロナ前の活気が戻ってきているようです。業界の明日を担う若き電工の奮闘ぶりを是非ご覧ください。

リニューアルにあたり広報委員会からは「フォト自慢」の企画を立ち上げています(P.36)。あなたの自慢のショットを是非投稿お願い致します。

会報の発刊にあたり、ご多忙の中たくさんの投稿をいただきましたことを厚く御礼申し上げます。

今後とも会報充実に向け皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。
(平尾 記)



アンケートのお願い

今後の会報づくりの参考にさせていただきますので、Webアンケートにご協力ください。(ご回答期日:2023年6月30日)



会員企業限定

あなたの特技を会報に掲載してみませんか?

- ◆ 漫画やイラストが得意な方
- ◆ 絵画や書道が得意な方
- ◆ コラム(文章)を書くのが得意な方
- ◆ 収集家の方(趣味で何かを集めている方)
- ◆ 日曜大工(DIY)が得意な方
- ◆ ペットをたくさん飼っている方
- ◆ 業務内外を問わず、資格をたくさん持っている方

自薦、他薦、どちらでもOKです。協会事務局(電話:06-6363-4077
メール:webmaster@osdenkyo.or.jp)まで、ご連絡ください。
内容を確認後、事前連絡の上、当方より取材に伺います。

編集委員(広報委員会)

担当副会長	横井正温	専門委員	内橋史和
常任理事	早坂稔	//	田中晋策
広報委員長	一瓢秀次	//	森谷宣夫
理事	// 井下智仁	//	丸谷良美
//	坂本暢彦	//	須戸清光
//	植谷信之	//	田中健太郎
//	松井克彦	//	熊迫仁士
理事代行		//	小林健一
			奥村武央

季刊会報

発行所

一般社団法人 大阪電業協会



春季号(174)

発行日 2023年3月31日

発行者 広報委員会

印刷所

株式会社三友社

大阪市北区東天満2丁目7-19
TEL.(06) 6881-1795

大阪市北区野崎町9番8号

永楽ニッセイビル5F

TEL.(06) 6363-4077

FAX.(06) 6363-4079

Eメール webmaster@osdenkyo.or.jp

ホームページ https://www.osdenkyo.or.jp

魅力ある電設業界の
未来のために



一般社団法人
大阪電業協会